

弊店製作の空中飛行機は、骨格全部に弾性鐵線を使用せるがゆゑに彈力強くして、破損の患なし、殊に此の飛行機は、動力にゴムを用ひずして、斬新なる考案になれるハンドルの紐に依つて、空中を飛行すること凡そ十間にして、追々飛行法練磨の結果、二十間以上に及ぶべし、されば歌人にて飛行競争をなすも面白からん、又た色羽二重の翼は、白漆の骨格と相對して斬る美麗なれば、進物用として將た教育模型品として最も適當なり。

○舶來花火線香

螺線狀の銀色針金の先に點火して振廻せば、美しき火光一時に迸發して、其の麗しき、云ふばかりなり。

し、夏の夕暮、涼室にての好き御慰みなり。

○闘球盤

本品は、紳士も奥様も學生も令嬢方も必ず愉快を感じ給ふべき高尚なる遊戯品にして、玉突に優れる面白さあり、競技の方法は極めて簡單、趣味多きのみならず、少年少女に對しては、加減數計算の練習ともなり、身體の運動の一助ともなる、故に家庭用及び俱樂部、貸席、温泉宿、旅館等に備ふれば最も妙、避暑避寒の際に於ける消閑の具たるには理想的に近きものなり。

○最新式空氣銃

本器は英國式の堅牢無比、優美輕

當代廣告文例

當季新案のお召數十種及び帶地友禪等特に別室に陳列す○幾多の婦女子が沙干狩せる風俗を電氣應用によりて御高覽に供す○故名優が得意の技を演せし時に着用せし衣裳を應用す○清新の物取揃へ陳列販賣○珍柄の品數百種、特選の上陳列す○春季向の清新なる品々數限りなし○日々早朝より御來店遊ばされたし○食堂も當月より開設せり○懸賞裙模様圖案の陳列あり○弊店内に於て新製各種の雛人形及び附屬品一切を御尊覽に供す○御兒様方御同伴にて御來臨ありたし○特別盛大に開會○餘興として景品數多あり○萬事注意して御便宜を計る○食堂に於ける料理は美味低廉を主とす○春のパーゲンデーを開く○一圓均一より五圓均一まであり○破格見切反物並によせざれ大賣出し○最も低廉なる正札を以て販賣す○特に夏物新柄を精選したる上、從來

になき廉價○食堂及び休憩室は面目一新○夜間はピーヤホール、水店等をも設く○御散步かた／＼御枉駕あれ○いよ／＼夏季に入る○若葉涼しき季節となる○中形浴衣地には奇抜なる意匠多し○何れも特製にかゝり、意氣と高尚とを兼ねたり○熱心に新工夫を凝らして瀟洒たる趣味に富めり○中先の御進物として最も適當せる品々取揃へあり○御贈答品は呉服太物洋服地は勿論、和洋小間物一切○箱入又は紙包みとして立派に迅速に調進す○かた／＼地浴衣地は目下出盛りなり○御急ぎの御用は電話にて仰付けられたし○總べて御贈答品は弊店に限る。

秋季及び冬季

寄せ切れ見きり反物は日々差換へ陳列す○最新流行のもの相選みたり○冬衣裳の御注文は弊店へ仰付けられよ○お嫁入支度は趣向の趨

第二章 廣告文資料

便なる空氣銃にて、少年兒童にも容易に小鳥を獵することを得る最新式のもの、在來、他に販賣する銃は舊式のもの多く、役に立たず、本器は、其の命中の正確なる百發百中の妙あり、少年獵銃界の大流行となれるは偶然に非ず、彈丸千發及び綿布製銃袋を特に進呈す。

○御買求の御方へ
注意

シンガミシン御買ひ求めの節御記憶願ひたきは、皆様は世界最大のミシン工場と直接の御取引なさるやうになること、皆様は世界にて最上等のミシンを御所有なさるやうになること、皆様は御自宅で完全な教師から充分なる教授を受けらる、やうになること、皆様

く所を察し、國風を存じて時勢に適すべきやう致したり○米國エヂソン式玉取遊戯にならひ紀念品を贈呈す○五十錢均一の品は何れも體裁宜し○引續いて金二萬圓の福札相添へたり○冬物の御用意遊ばさるべき季節と相成りたり○新春の御用意は如何遊ばさるや○冬枯の季節に際し弊店は新流行の珍柄を以て千紫萬紅の美觀を呈せり○御歳暮の御仕着、御進物を始めとして總べての御準備は弊店へ御出遊ばされなば直ちに相調ふ○染織物嗜好研究會は非常なる好評を博しつゝあり○新年御題に因みたる新製品いろくあり○羽子板は當店特製品あり○歳末年始の御進物用として適當なる呉服洋服其の他何れも備へたり○商品切手は高尚優美に調進す○年内に是非一度御光來下されし○來年の新流行に遅れ給はぬやう御用意あれ○例年になき格安品澤

は裁縫のために大に儉約をなさるやうになることです、尙ほ此のミシンの分店は到る處の市町に御座いますから、直に品物を御受取にすることが出来ます。

○初秋の樂み

そよ吹く風の初秋に際して、いと親むべきは、家庭用シンガミシンにして、時節に有り勝ちなる憂愁の思ひも消散し給ふべし、實益多きが上に趣味も亦秋と共に深からん。

○蚊帳の必要な時期

夏は近づいて、蚊帳の必要が目につく切迫いたすやうです、御注文次第、どんな御遠方へでも、迅速に御送りいたします、種類も御好

山あり○何品にても御用命賜りたし○日々満員の盛況を現すること、信す○新春向の品は苦心の新案より成れり○美の粹、流行の粹、人の粹○冬の新流行は一目の下に瞭然○清き家庭の御贈物として之れ以上に適當なるもの少し○逸早く御來店あらんことを伏して懇請す。

(十四) 開業及擴張

開業

銀座街の中心○神田駿河臺下の繁華なる場所○時代は新化粧品の發賣を促す○化粧品の革命を實行すべき時代は來れり○貧弱なる質と量とを以て法外の利益を貪りつゝあり○今や新化粧品品の必要を生ぜり○多年の實驗と苦心を積みたる新洗粉を發賣す○洗粉の發賣と共に新しき店舗を開く○化粧品其の他の販賣をなす○確實と勉強とを商略とす○正直は最上の政略○他店よ

少次第調へます。

○瓦斯厨爐

石油が蒸發して瓦斯となる。本器の加熱せられし燈口を石油が通過せる作用により、茲に瓦斯を生じ青藍色の火焰を發す。故に燃芯を要せず、一升の水僅かに五分間に沸騰す。其の火力頗る強大なるに反し、其の燃消量は極めて僅少にて可、一時間使用するも、石油を要すること僅かに五六句、紳士卓上の使用に適す、構造堅牢優美にして殆ど危険の患なく、油煙悪臭絶對になし。

○千代田火のし

極少の炭火で長時間用ひられ、和洋織物に適當にして、使ひ心地

のよきことたぐひなし。

○改良竈

一、耐火煉化石にて築造し、鐵具も大改良を加へたれば、鐵板製の如く破損の患なし、二、薪材の減少五割以上、三、火焰は竈の外に出でざるを以て火の用心よく、家内少しも燻ぶることなし、四、燃格煙突の作用に依りて、薪炭の火力を充分發揮せしむるを以て、炎炊の際、多分の時間を要せず、此火の強弱自由自在、御飯のこげ付くことなく、味も亦甘美に出来上る、六、價格も無比の低廉。

○新式煖爐

本器は、多年、學理と實際とを應用し、炭酸瓦斯の發生を防止し、

當代廣告文例

り一倍の勉強をなす○獨特の最低廉價を以て廣く且多量に供給する設備をなせり○文運の進歩に乗じて出版業を起さんとす○有益なる精神修養書を刊行するに力む○一時の巨利を博せんとせずして小利に甘んず○主として顧客の御利益を計る○先づ社會の利を計る○時流の趨く所を察して實利實益に資すべき出版をなすべし○製本の意匠、體裁總べて美術的新意を發揮する筈○多少の抱負と自信とを以て出版書肆を開けり○第一着手には、豫ねて計畫しつゝありし週刊雜誌を出すことに定めり○科學方面の開格に最も力を致すべし○文學のため及ばず乍ら微力を傾注せん○我國に於て存外、進歩せざるはホテル事業なり○日本の旅館ほど舊式にして不便不快なるもの少し○設備少しも整はず○化粧室、讀書室を有する所極めて少し○讀書室の如きは皆無

に近し○遊戯室も亦偶ま之を見受くるのみ○それも極めて單調なり○風呂の如きも徒らに狹溢にして徒らに不潔なり○日本のホテルは何時迄も現狀に安んずべきものか○内國人は別として外人に對しては一大屈辱なり○設備の改善は目下の急務○弊館の開業は聊かホテルの面目を新たにせんがためなり○總べての設備は完全せり○何人も愉快に宿泊するを得べし○御來客本位として御愉快と御便利とを計る○時代の要求に従ひ、斬新にして堅牢なる帳簿文具及名刺用紙の優良なる品を製造す○信用ある歐米の製品を直輸入す○食道樂各位の御最負にあづからんものとピーヤホールを開業せり○西洋料理の材料及び飲料に於ては格別の注意を怠らざるべし○日本食も亦御好に應じて調製すべし○食堂には美術的意匠を凝らせし食卓及椅子を配置す○壁

第二章 廣告文資料

温度の上昇自在にして、衛生上極めて安全無害なることは、世既に定評あり、本器は、日本造りの家屋に最も適當なるやう製造し、木炭コークス兼用焚煙筒を要せず、至極便利此の上なし。

○暖房器

本器は當店が多年、導熱装置製作に従事したる經驗に基づいて、一種獨特の装置より成る、熱原は火焰を蒸汽に取り、蒸氣は火熱の熾烈を殺ぐが故に、温熱緩和、鐵壁燒爛せざるが故に、炭酸瓦斯を發生せず、燃焼物を觸るゝも、燬くことなし、故に無臭、無危險、衛生上全く無害なり、且つ多數の放熱板を附したれば、熱の發射自由にして發熱面積自在、その上、

畫は有名なる畫伯の手に成りて艶麗無比○酒類は最純良のものゝみを選ぶ○如何なる酒類も具はれり○食卓上の花は四時絶やさず○屋上に庭園を設けて御來客の御退屈なきやう心を配る○料理は新考案より成れるもの二三種あり○何れも天下一品、他に於て見るべからざるもの○西洋食通を振廻す人々にも必ず満足を與ふることを信ず○本年春、佛國より歸朝して洋食店を開く○佛國式料理を呼物となす○濃厚の風味、必ず御喝采を博し得べしと信ず○デパートメントストアを開業せり。

擴張

日に月に盛大に赴く○御蔭を以て益々繁昌の好結果を得つゝあり○品質を吟味す○御芳情を感謝す○御懇篤なる御引立を拜謝す○此の機會に乗じて擴張せん

遮熱障を以て熱の空過を防ぎたれば利用し得べき熱量は多大なるべし、燃料は薪炭又は石炭にて宜しく、量は僅少にて足り、煙突は長きを要せず、體裁優美なり。

○防火劑エンペル

防火建築材料として最も進歩せる確實有効の塗料なり、防火防水防曇を兼備し、嚴寒に遇ふも、決して凍り割ることなきは、確かに天下一品。

○新發明のポンプ

乾き盡せる夏の建物と、熱砂を煽揚するの烈風とは、往々、大火の基をなす、之を前にしては大阪の大火、之を最近に徴すれば、吉原の大火なり、従つて夏冬共に防火

とす○多年の御愛顧に酬ひんとす○更に一步を進めて、デパートメントストアとして日用商品の總べてを取揃へ販賣す○御華客様の御便宜を計るに日も之れ足らず○御取扱方に關しても、一方ならぬ注意をなす○從來、書籍小賣商のみなりしが、今回、出版業を開始せり○店務の擴張は、此に出版部を設けることとなれり○小賣方面と併行して活動を開始すべし○出版界のレコードを破る意氣込○萬事、着實を旨として漸次改良の實を擧げん○小賣の方は御蔭にて豫想以外の成功を得たり○御華客様の御引立によりて漸く繁昌して、近來手狭を感じるに至れり○御泊客は昨年の二倍となりて室の狹隘を感じり○別に奥二階座敷を新築す○洋館を増築して多數御來客に應ずべし○室内の裝飾には最も意を凝らせり○從來の旅館の弊風は一切、之を踏襲せ

の用意あるべし、本器は、優に其の需要に對して、多くの効果を有するもの、三分間に一石の水を五十尺の高さに注水し得るが故に單に防火用のみに止らず、夏日、高き樹木、廣き庭園、屋上道路の掃水用として缺くべからざる必需品なり。

○輕便防火ポンプ

總て火災消防の要訣は、即時應用神速なるを第一とす、火災の原因は失火初期に於ける消防の手遅れにあり。消防の手遅れは、家庭に防火器の用意なきより起る、防火器の備付は、自衛の手段たるのみならず、社會公徳上の義務なり、故に諸君は、此の際、直ちに輕便防火ポンプの注文を申越さるべし

○變用萬能鋏

形小なりと雖も、或はナイフとなり、或は裁應下となり、尺度となり、定規となり、釘抜ともなれば、鐵錐ともなり、チツ廻しともなれば、釘穴明けともなる、點線切取用、カラス切用等十四種、十八種乃至二十五種に變用せらる、此萬能鋏豈徒だにあらば、家居、旅行遊獵に於て即時の便用となる、又鉄入の小白玉中に、美しき覗き寫眞畫を填裝せり。

○オートストラップ

君はナセ小汚く髪を生してゐる？ 兒供でさへ安心して造作もなく使へて便利で愉快で時間的にも經費上にも經濟なオートストラップ安全

ざることとせり○新橋停車場前に支店を設置す○支店は本店同様の主義にて、何處迄も親切丁寧を旨とす○本店同様の御引立を請ふ○新築中の處、皆々様の御餘光により落成せり○日常御使用のものより高貴の品に至る迄洽く取揃へ階上階下へ陳列す○新しき設備を以て營業を開始す○新築紀念のため餘興として福引を舉行す○西洋風の四階建と爲し、様式はルネーサンス式の設計○店内は總べて陳列式に改めたり○平素の寵眷に酬ひまゐらせんとす○二階の傍らに御來客の御休憩室及び應接室を設く○三階の後半部を化粧室となして、御來客の御便宜を圖りたり○今後、一層御華客様に對して誠實と懇切とを旨として勉強仕るべし○舊來にいやます御愛顧の光榮を賜りたし○續々御來臨を辱ふせんことを偏に祈り奉る所なり○伏して懇請し奉る○萬一

御不満足の點もあらば御遠慮なく御叱りを受けたし○缺點は益々之を矯正し、短所は之を排除するに力む○設備の至らざる處は益々改善を施し申すべし○店員一同、協力して舊來に倍する圓精をなさん○今回の擴張に甘んぜず○第一期の擴張とも申すべし○精進努力を忘れざるべし○微衷の存する所を察し給へ○早朝より續々御來客の御枉駕を待ち奉る所なり。

(十五)

東京と大阪

新聞事業 官僚政治反對の急先鋒○財界人士の必讀すべきもの○記事も議論も穩健にして而も綿密なれば、何の事件に關しても信頼して讀むべきもの○新聞紙中の米の飯○新聞界の巨人なり○常に時代に卓越せる勢力を保つは、常に時代に卓越せる記者と機關とを有

剃刀あることを君は知らざるや、一度にてもオートストラップを試みたる諸君は疑るにも起るにもツイ二三日の旅行にもオートストラップを離すことが出来ぬ、オートストラップは便利と安全と清潔と愉快とを與へる文明の利器です。

○お祝の服装

天長節と小供衆のお祝ひとは間近くなりました、お小供衆のある母御さん方は色々と服装に就て御心配中でせう、男女何れのお小供衆でも、洋装の方が餘程輕便で經濟で外見もお立派であることは申上げる迄もなく御存じて御座います、之等の御仕度は、今の内に御命じになりませぬと、時期を失ひますから、何卒早く下名へ御川

するに他ならず○讀者は上中下總べての階段に通じて世界の各地に分布せらるる○時代潮流の先覺者○讀むべき價値と讀まざるべからざる性質とを有す○拾數年來占め來れる高き地步と博し來れる強大の信用とは必ずしも我誇らんとする所に非ず○如何に新なる努力に滿てるかを見られよ○不斷の努力を以て理想に向つて精進す○當今の新聞紙が滔々相率ゐて俗惡淫靡に陥りつゝあるは心ある人々が最大憂患となす所○誠心誠意實益の弘布と清新なる趣味の普及とに力む○歐米最新式に依り、最も進歩したる方法を以て日々の紙上を賑はす○東京新聞界の第一流を以て稱せられ、同業者及び一世の耳目を聳動しつゝあり○新案奇趣を續發して絶へず讀者の感興を新にす○毎年有爲の記者數名を海外に派出する計畫あり○歐米より多趣味多方面の通信續々

命を希ひ上げます。

○本年の春着

本年の春着には如何なるスタイル如何なる縮柄が流行するや、洋服の附屬品は如何なる品が最も高尙にして粹を極むるや、願くは駕を枉げて之等の疑問に對する弊店の誠實なる答辯を聞き給へ、御川の際は御一報次第店員參上仕るべし

○努力を犠牲に供しつゝあり

弊店は從來の均一店なり、活潑奮闘、益々同業者間との劇甚なる大競争、新均一店ドシ／＼生る、されどスタイルと地質に御注意、スタイルの永久保持するや否やは申身の裁縫綿密如何にあり、弊店裁

として來る○黄金も我三寸不羸の舌を倏すべからず○如何なる權威も我が不備不撓の鐵筆を左右すること能はず○慧敏なる觀察力を以て明快の斷論を下す○誓て政治經濟問題の討究を怠らざるべし○議論公正にして平易穩健○何等外間の制肘を受けず○相場欄は觀察奇警にして頗る機敏なり○世の中の有ゆる出來事は漏るゝ所なく記さる○内外の新開雜誌に關する報道を網羅す○連載中の小説は新生面を開ける興味中心の試作○小説執筆者は皆當代第一流の大家○小説及び講談は何れも人氣ある作者の手に成り興趣湧くが如し○某作家の歴史小説は當代の一品○溫雅にして而かも氣骨を包む○戀に陥れる青年畫家の運命を描いて、波瀾曲折を極む○文藝趣味紙上に横溢す○艶麗花の如く、清楚月の如し○挿畫は第一流の畫家之れを揮毫し、木版彫刻者も

縫のズボンハズボンツリもバンド
ウしろらぬ新式、肩の凝らぬこと
頗る妙、品位と經濟とを重んじ、
精選せる地質に綿密なる裁縫を施
し益々大勉強、此の好機に際し寸
刻も躊躇し給ふな。

○初夏の新装

六月は夏衣の時期なり、卵の花色
の白製ね、袖にけふたつ夏衣など
歌に多く詠まれて、昔も今も變る
ことなし、蟬の羽の薄衣には未だ
若干の間あれど、花衣ぬぎすて
より既に幾日、花菖蒲咲くきのふ
けふの新装には、果して如何なる
ものが宜しきか、それも粋の粋な
るが聞きたければ。まづ男物にて
は、結城縮これ粋の骨頂とや云ふ
べけれ、昨年頃初めてちらりと見

亦精妙の技を發揮す○人物の性格描寫法に新工夫を凝らし
たるもの○現代の青年が新たに作られたる家庭の有様を客
觀的に巧妙なる筆を以て描寫す○世は不健全なる小説に他
いて、健全なる小説を渴望せる時、此の大作の出づるは偶然
に非ず○氣骨ある老人あり、癡惡なるハイカラあり、悲哀の
波永へに湧いて其の日くく愛讀を禁せざらしむ○經濟と
商況の記事は眞に實業界の指針たるべし○内外に向つて
國民の志望を代表し、國民的發勁の機關たるを以て目的と
す○主筆の手になれる日曜講談は、一種の通俗的教訓にし
て能く人心の機微を穿つ○外交問題に對する注意は常に識
見あり遠慮あることを示せり○題目を讀んだ丈でも一目瞭
然○正午版は本社獨創にかゝる○經濟記事商況物價に至
りては實業の師友たるに背かず○世界の出來事は細大洩さ

たりしが、今春の三越新柄陳列會
に出品され、いたく好奇者の喝采
を得たるもの、外觀も新らしけれ
ば着心地の好きこと、單衣として
一寸他に類なし、流行の粋を極め
んとせば、是非とも之を採らざる
べからず、清綾織、銘綾織は人も
知つたる如く、弊店の特製品なり
いづれも男子用單衣として輕快に
且潇洒たる趣味に當みたること今
更言ふまでもなし、何を手前味噌
と思召さば、試に御實驗を希ふ、
富國織、豊國織、山科お召など、
いづれも花菖蒲、杜若ひきぞ煩ふ
ばかりなり、清綾織、銘綾織は畜
に單衣のみならず、單羽織にも亦
大いなるし、山科御召には單羽
織地として特に織出されたるがあ
り、扱て單羽織も稍時期を過ぎて

す○日本唯一の健全なる新聞○凡百の新聞を併讀するに優
る○讀んで慰安を得べく又清興を惹く○社説以外、諸大家
の名論卓説を掲ぐ○時事問題に對して正鵠適切なる批評と
解決とを與ふ○獨特の健筆を以て一代の英雄才人を紹介す
○血あり涙ある我新聞は又た骨あり、肉あり○言々熱誠籠
り、句々悉く金玉○意氣天を衝き、抱負世を蔽ふ○正義の
急先鋒○弱者の味方平民の伴侶○此の誠度熱烈なる助言者
の言論に耳を假せ○諸君が痛切に必要を感じつゝ事項は悉
皆收めて今日の我新聞にあり○老成着實の士は勿論、年少
氣鋭の人も讀んで面白し○嘘も書かず、虚飾をも施さず○
教育ある社會に多くの讀者を有す○編輯事務兩局を通じて
一千九百の社員は晝夜の別なく活動しつゝあり○十數臺の
輪轉機は、午後四時より翌午前四時迄轟々輪轉の聲を絶た

は絹の無双羽織がよからめ、這は
営業者等幾多の苦心を重ねて漸く
工風されたもの、本年の新製品
たり、夏の羽織といへば直ちに絹
を聯想せしむ、而も其の勢力ある
絹にして此の斬新奇抜なる無双羽
織あり、近き將來における其の流
行今より思ひ遣らる、秀綾織と云
ふも新製品なり、橋立絹の如きも、
羽織として最もよろし、妙紗御召
は、本年の新柄陳列會に出品され
たるものにて、大いに世上の好評
を得たるのみならず、営業者にも
亦少からぬ注意を拂はしめたり、
地質は絹の如くにして絹にあらず
御召の如くにして御召にあらず、
まづ御召絹とも云はば云ふべき
か、兎に角風に軽く、單羽織とし
ても單衣としても口先最も變りた

す○社會部の周到なる開拓と、湧くが如き興味と、剛健な
る態度とは新聞界に一新時代を劃す○近來は非常の奮發と
勉強とを以て、社會上の如何なる出來事にも必ず社員を特
派して事實の真相を究明す○社會の明鏡たるべく、處世の
指南車たるべし○有益を旨とし、而かも人と事とに害なく、
多趣多味ならんことを旨とす○社會的記事は、頭腦明敏に
して達筆なる記者の筆になり一讀、面白さを忘れざらしむ
○雜報は演藝物及び花柳界消息と共に出色なりとの評判
隠れなし○如何なる種類の廣告も其の功力偉大なり○總べ
ての廣告機關を利用して得らるべき最良の効果を收む。
地方 滿洲に於ける唯一無二の獨立新聞○大陸に
發展する帝國と帝國民との代表者○横濱は
我對外貿易の中心市場○帝國の活動的趨勢の次第に南漸し

り、婦人向き單衣は矢張御召に止
めを刺すやうなれど、柳御召、金
紗御召の如きは殊に優れたり、柳
御召は鶴地の如くにして稍趣を異
にし、金紗御召は紗織の如くにし
て御召の趣味を有す、右の品々は
いづれも十四五圓以上のもの、十
二三圓にて壁御召と云ふがあり、
元の柄行より云へば、お見達川と
して最も適當なるべく思はる、な
ほそれより廉なるものには、壁銘
仙あり、外觀も好しためも亦よし
隣摩筋のからみ入りにて柄はいろ
くあり、價は八九圓、帯は單の
幽霞織に或は柳、或は水草など、
すべて淡白なる模様を縫取にせる
もの弊店の新案にして好評を博し
つゝあり、華織に刺繡を施したる
ものも、いづれも劣らず流行せり、

西進せんとする氣運と潮流とを作興し指導す○單り北國の
木鐸たるに止らず○一般國民の良師良友たらんことを期す
○北海道唯一の新聞紙○購賣力の無限なる信越地方の情勢
を知らんとせば直ちに我新聞を見よ○九州を根據とすれど
も、勢力圏は海の内外に互れり○九州の學府にして教育普
及人智發達せる處に生誕す○九州の重鎮にして又西海の覇
王○蠶絲國にして豊富なる購賣力を有する長野市の中心に
於て發行す○尾濃甲越にも多數の讀者を有す○縣下にあり
て發行紙數第一なり○最新式輪轉機によりて印刷す○新式
活字鑄造及び寫真製版部の設備完成○紙面の整頓は優に大
新聞の面目を具ふ○佛國マリノニ式輪轉機二臺を用ひて印
刷す○繪畫寫真は最も精巧斬新○電動力及び石油發動機二
基を備へたり○最新式活字を専用す○技術の優秀と印刷の

簡便にして洒々たる風趣に富みたるより將に大いに流行せんとするは羽二重絞模様の片側帯なり、水に千鳥、柳に燕、麻形など藝妓向きの模様がありまた町方好きの模様が有り、色合は納戸を主とし、襷りものにては利久鼠、藍鼠、白地などあり、男帯なれば縹織、幽霞織、紋博多、組博多等流行し、別にそれ以上變りたるものは見當らず。

○新年の賣出し

福袋、福切れ賣出し、一月四日頃より十日迄(四日は正午迄、五日より平常の通)福袋は毎日五百個限りにて五十銭、一圓、二圓、三圓、以上の各種、羽子板は價格最も安く意匠何れも優美斬新に有之候。

鮮明とは地方新聞中第一位に居る○滿洲に於て歴史上最も古き新聞○一黨一派に偏せず○養蠶、製絲、織物の情況は細大漏さず○購買力豊富なる家庭に洩れなく普及す○商況と經濟界とに全力を注ぐ○縣下樞要の地に支局を設けて大々の活動をなす○朝鮮の報道と内外名士の訪問談は斯界の一大異彩○記事の清新豊富は關西第一○生絲を初め各種貿易品の商況 其他一切の内外經濟事情を詳密機敏に且つ適確に報道す○江湖の出來事を記する上にも、東京の新聞紙に譲らず○北海道に關係ある内外各國の都市に特別通信員を常置す○本紙は北海道拓殖の代表的機關なり○我日本に於ける有數の大新聞なり○九州一圓、中國の一半及び臺灣朝鮮滿洲は我新聞の信用範圍○日々向上發展しつゝあり○苟も雜穀と肥料とに關する業を營まんとするには、一日

○春期大賣出し

新案歌舞伎模様の右は故名優が得意の技を演じたる時に着用したる衣裳を應用して、帶地、模様の長襦袢、半襟其の他の物を新製いたせしにて、是れを店内各所に右衣裳と俱に陳列仕候。

○新製品陳列會

四月一日より新製品陳列會開催仕候、本年は別して珍柄の品々數百種特撰の上陳列仕り寄切見切反物は改裝中の三階に賣場相設け、例年よりも澤山に御覽に入れ申上ぐべく、尙ほ御小供様方御用品及雜貨一切春季向清新の品々取揃申候間、日々早朝より御來店遊ばされ度候。

も此の新聞を離すべからず○外人に對して滿洲の真相を紹介す○毎日受信する東京電報のみにて、優に電報送達紙一百枚以上に達す○論評は剴切を極め、記事は敏確を極む○廣告の件は某町東京支局に御用命煩はしたし○廣告の効能は無限に偉大なり。

(十六) 通俗教育

講義錄

學校に行かずして中學全科を修了するを得べし○講義錄は、須らく最新最良のものを撰擇せざるべからず○青年學生に高尚なる趣味を養はしむ○確實なる科學知識と穩當なる倫理知識とを與ふ○自宅にありて僅少なる學資と短き時間とを以て中學全科を了へんと欲するものは速かに入れ○講師は多年中等教育に甚深の經驗を積まれたる斯道の名流○豊富なる紙數と新式の教授

○いよ／＼夏季に入る

六月一日より、一、夏衣大賣出し開催、一、特製中形浴衣地陳列、一、季節向よせぎれ見切反物多数取揃へ置き候。

○浴衣會

六月十日より七月中、夜間は十一時迄營業いたします、尚ほ夕刻より庭園に於て化粧品を販賣し、ピヤホール、水店等をも新設いたしましたから、晩涼を追うて御散歩、御來遊の程御待ち申上げます。

○歳暮賣出し

御忙がしい御方々が御進物の御趣向や御品定めに貴とい時間を御潰

法とに由り、中學全科を學習するに便なり○平易にして多趣味の講話を中心とす○全然文部省中學校令に準據す○最も正則なる組織の下に極めて懇切なる教授を受けんとする人に向つて、本講義録を薦む○一學期六ヶ月を以て中學校一ケ年を完全に修了せしむ○學科の統一排列に向つては特に周到の注意を加ふ○各専門學士筆を執りて説明最も懇切○各學科の統一を無視せず○深奥なる學理を明快懇切に説明す○文部省の中學校教授細目に準じて掲載學科を編成す○短期の修了と、學費の低廉とは他に見るべからざる所○現下の社會は、皮相的革新期を過ぎて根本的更革時代となれり○激甚なる個人間及び國際間の競争場裡にあつて優勝者たるべき人物を養成す○立憲思想と文藝趣味との養成に力む○専門教育を受けんとするもの、若くは中學程度の業

し遊ばすは無益なこと、御間合に一寸當店に御立寄下されば、どんな變つた品でも又何程でも忽ち調へます、陳列の品が澤山ございますから、どんな御好みの品も澤山ある道理、其の上御注文物は、いくらでも速くととのへます、手拭一筋でも替一本でも、春は春らしい物が特別に出来て居ります。

○開店御披露

純粹歐米式カフェテリアオンは愉快なる餘興場を設け、來十日開店披露の爲め、左の趣向を以て合格者へ大に西洋料理を御馳走し、一等より五等迄賞品を呈上すべし、一、精養軒(上野、築地、新橋、食堂車)にて西洋料理を食したる事、エビス、サツボロ、アサヒビール

を了へて直ちに實務に就かんとする人々に健全なる常識を鼓吹す。(以上中學及び國民教育)
○英語は其の方法良好なる時は完全なる自宅獨習をなすことを得べし○中學生の英語講習に好參考書○教授の方法は最も適切○英語を知らざるものは時勢遅れなり○其の不便不利益測り知るべからず○機會は再び來らず○英語の必要は愈よ急激也○最新の方法と最廉の會費とを以て完全に英語を速成せしむ○執筆者は英語界の諸名家○編纂は能く整ひ、譯文は流暢明快○發音、綴字等は圖解を挟みて解し易からしむ○講義録に於て文章作法を講ずると共に生徒の文章を添削す○添削は本院講師之を擔當し最も嚴密に加筆批評す○講述最も平易、總振假名つきの談話體なり○各自の文才に應じて特殊の指導をなす○整齊せる組織と斬新なる

を愛飲せしこと、二、前項の原因にて(男女を問はず)體量廿貫以上の強壯體となりたるもの、但し外國人と力士は二十五貫以上に限る、三、今後カフエーライオンの顧客たるを承認せらるゝ事。偉大なる體軀を以て誇らるゝ諸君！諸君の同胞は膽大なりと雖も、少なるを以て時に輕侮を受くるは遺憾とする所なり、諸君は實に世界的體軀を有せらるゝは之れ我國人の模範なり、乞ふ以上の三項を具備せらるゝ諸君は奮て御來場あれ、午後一時より四時迄、時に新聞社員の立會を乞ふ、右奇抜なる空前の珍趣向御覽覽旁陸續御枉駕あらんことを懇請す。

○美術品販賣開業

カプリの島のグロッタ、アブラは赤金にやけた漆の童の肌をも白金にするといふ、美しい物の好きな人は此の環珥洞に立ち寄りたまへ

○文房具店開業

弊堂は最も進歩したる最も有利なる帳簿文房具類を製造し兼て最上の外國製品をも廉價に發賣す、意匠は兒童研究會及教授用品研究會の審査指導を仰ぐ、製造は博文館印刷工場にて最新式の機械を以て専門技師監督の許に優良品を製造す、用紙は、内外各製紙會社の代理發賣店たる博進社、之を供給するに依り、製品の豊富に價格の廉なるは他に比類なし、品物は、歐米各國の名聲ある製造元より輸入するが故に品質精良にして而か

施設とによる○國語の性質、國文學發展の由來、各時代文學の特色を明かにす○何處迄も系統的、組織的なり○受験上に必要ある手續報道及び心得を掲ぐ○我國民に必要缺くべからざる法律知識を供給せんとて現はる○人事百般の行為總べて法律に支配せらる○法律學の原理原則を理解すべき必要多し○知名の法律家を網羅し、各自得意の學課を講説すること極めて細密○高等文官試験に應せんとするものを標準として記述す○財政經濟の課目を増加す○専ら力を教育方面に注ぐ○史的研究は學理實際何れの方面にも缺くべからず○諸科受持の諸講師は何れも史界屈指の名家○入學受験志望者の光明○一大難關とも云ふべき試験場裡に勝利の凱歌を擧げしむ○受験の實力を養ひ且つ其の方法を明示す○學海の事情を詳にし、受験に必要な注意を示

す○各學校試験委員の手になりし問題及び官立學校試験諸問題として出でたる千數百題中より極めて重要なものを基礎として巧妙に配列説明す○文官普通試験に及第せるもの少からず○官公吏就職志望者の良師なり。(以上和漢英及び學術、受験)

○本校商科の課程を基礎とす○主として商業上の常識を養はしむ○商業經營に關する最新の理論を引用論述す○商業通信教授を實行する我國唯一の教育機關○内外產業界の最新事實を紹介す○商業界に雄飛せんとするものは讀め○最新の商業學を知らんとするものは見よ○時間と學費を節約して學ばんとする商家の青年よ○各銀行會社商店事務員志望者の好指針○經濟界恢復の機運に際し一大改革を紙面に加ふ○講師は高商出身の學士にして現に實業界に活動しつゝ

も格安なり。

○新聞開業

今まで見た事のない綺麗な新聞。新聞は読むものには違いない、然し見た處が汚れては誰も読む氣にならぬ、乃で我が帝國新聞は大々的苦心研究を以て字の雜報を御覽に入れると同時に繪の雜報をも御覽に入れる事にした、之れは日本ではわが新聞が初めて實行した編輯方法である。断じて無責任の事を書かぬ新聞。我新聞は何人の機關でもない、何等爲めにする所あつて發刊されたものでもない、帝國新聞は只新聞としての天職を極端まで發揮して、天下國家の爲め一つの善事をなしたいと心掛けて居る、それ故、新聞には偽を書か

ある人々○職業難を嘆ずるものは、未だ本會講義録を知らざるによる○就職に必要な學科は悉く網羅す○徒らに高遠なる現論に馳せず、實利實益を主とせり○商業上に必要なる新知識の結晶也○或意味に於て就職の虎の巻と云ふべし○廿世紀の商人は、必ず新知識の所有者たるべし○講義丁寧、宛如、講師に親炙するの思あらしむ○商戰場裡の最強者たる資格を得よ。(以上實業、實務)

○國民の基礎たる家庭の改善は刻下の一大急務○家庭講義録としては本講義録に匹敵するもの絶無なり○某大學家政部の學科に進據す○全體を通じて日常生活に有益なる學科を網羅す○講師は教育に熱心なる博士學士○惡友に誘惑さるゝ恐なくして、靜かに勉強し得べし○手藝の素養なき人も容易く諒解することを得ん○入學者の質問に對しては

の事に定め、記者は自分の書いたものに署名して、其責任を明にすると同時に、主幹自ら編輯署名人となつて一切の責任を引受ける事にした、蓋し新聞界未嘗有の英断で而して又未嘗有の快舉である、目新しき記事の澤山なる新聞。我新聞は讀者本位の新聞である、故に日々面白い記事を滿載して讀者を喜ばせる、要は一軒の中で御主人始め細君や子供衆にも讀まれる事を期すると同時に断えず目新らしき餘興催し物を連發して、少しも讀者を飽かしめぬ新聞中の新聞である。

○新築落成廣告

市區改正の爲め、店舗新築中の處皆々様の御餘光に因り落成仕候に

當代廣告文例

必ず親切なる解答を附與す○我國家庭の事情を參酌して女子必須の諸學藝を講究せしむ○會員の詩歌文章俳句は添削して機關雜誌に掲ぐ○自宅に在りて業務の傍、高等女學校程度の學課を修むるには適當なり○本會獨得の速成通信教授の方法にて練習すれば、如何なる惡筆家も忽ち能書家となる○西洋のペンマンシップと支那の寫字法とを折衷す○家庭練習用としてこれ以上に出づるものなし○能書家は何處に於ても尊敬せらる○優美なる筆蹟は、其の人物をゆかしく思はしむ○筆蹟の拙劣なるものは甚だ損なり○二三ヶ月の後には、見ちがへる程の能書家とならん○機會は今なり○一刻も猶豫すべからず。(以上女子、家庭及び習字)

雜誌

繁劇なる事務家にも、餘裕ある讀書家にも均しく要求せらる○海の内外に於ける大人

第二章 廣告文資料

四〇三

付、此の際、營業振り一切を相改め、小間物小賣大商店として日常御使用の物より高貴の品に至る迄冷く階上階下へ陳列致し、すべて新しき設備を以て来る五月一日より營業仕候間、何卒同日より御買上の有無にかゝはらず、賑々敷御來觀の程、伏して奉願上候、敬具。

○業務發展

時下秋冷の候、愈々御清健の段奉賀候、降つて弊店儀多年御愛顧諸彦の御高庇に浴し、金庫衝器並に建築鐵物の製造販賣に従事し居り候處、近來業務愈々繁盛を加へ、御座候を以て、諸方面よりの御用日夜増進するの好況を呈し候、之れ偏へに各位の御眷顧に依るものと感謝の念に不堪候、然る處近時

物花役者に傾聴す○新聞雜誌を涉獵して新知識の百方面を網羅す○日本と歐米とを問はず、有力なる雜誌三百餘種中より毎號前一ヶ月間の重なる思潮を拔萃し評論す○此の欄を讀めば、現代思潮界の全景を一目の下に集むることを得べし○世界の雜誌界に帝國を代表するは本誌也○日進月歩の新知識を掲載す○幻燈の如く、パノラマの如く社會一切の事象を網羅す○新聞的特色と雜誌的特色とを併合す○新時代に遅れざらんとするものは讀め○靜かにしては人生の問題より、激しては時勢問題、社會問題の骨髓に衝き入る○寄書は天下の諸名士が特に考へ特に草したる卓論を集む○史論は痛快明透を極む○汎く内外の政治、經濟、法律及び文學上の時事問題を把へ來りて、精細緻密の觀察を下す○歐米に於ける政治、外交、經濟等の新現象を譯載す○

工業の趨勢に伴ふて、斯業發展の必要及御得意様の御便宜を計らんと存じ、聊か之に依て年來の御厚誼に酬ひたく覺悟、即ち今般資本を増加し、當店主を始め一族舉つて無限責任社員となり、合資會社となして、従前の營業を繼承仕候付、何卒倍舊の御引立奉願候、敬具

○一層の御便利を計る

當店義今回新築落成仕候付、本月十日より従前の場所へ引移り、今後一層御便利に相成候様勉強可仕付御家族御知己の方々御誘ひ合せ、御來駕被下度倍舊の御引立を懇請仕候、敬具。

○東京朝日新聞

人物月旦は必ずしも惡罵せず、阿諛せず○人物の表裏を解剖して其の鋭利なる筆鋒を縦横に揮ふ○空想的成功熱より覺醒し、輕浮なる教訓談に飽きたる新時代を代表せり○諸大家の修養談、成功談は迷へる青年に力を與へ、壯烈なる冒險記事と面白く可笑しき文學記事とは疲勞せる青年の頭腦に活氣と慰藉とを與ふ○向上的學生の嗜好に適す○血氣の青年を啓發す○某博士自ら進んで本誌の經營に任せらるる○世界的大國民たらんとするものは本誌に來れ○立志獨立を欲するもの、處世修學の要道を知らんとするもの、激勵慰藉を得んと欲するものは必ず本誌を見よ○進歩的現代の光なり○現代青年諸君の欲するものは悉く本誌に收む○教養娛樂の機關として之に優るものなし○二十世紀の生活は極めて複雑なり○一言すれば新聞的雜誌なり○日本に於け

朝日新聞が新聞界の模範として設備の完備、議論の公正、記事の精確なことは、二十年來、朝野の信用を固めて居る處である。今春以來面目一新せる紙面は、從來の朝日の特色に更に一段の光彩を加へた即ち確かな新聞、上品な新聞と云ふ上に、華かな新聞、面白い新聞キビしくした新聞、解り易い新聞となつたのである。内外の報道に於て最も機敏な新聞たることは申す迄もなく、日々の紙上に歴々として、無数の證據が活躍して居る。

○國民新聞

政治上の機微を窺ひ知らんとする人は國民新聞を讀め、國民新聞の政治上に於ける評論と報道は穩健

且つ正確、主筆蘇峰氏の東京だよりと日曜論壇は新聞界の一異彩、財界の趨勢を詳細に知らんとする人は國民新聞を讀め、國民新聞の財政經濟に關する記事論説は神速且つ確實、文藝界の思潮消息を解せんとする人は國民新聞を讀め、國民文學欄の俳句と創作は清新、評論は妥當、消息は周到、繪畫と寫眞の美を詠味せんとする人は國民新聞を見よ、國民新聞には著名大家の繪畫あり、能樂欄は本紙獨特、書畫骨董其の他娯樂的記事頗る豊富也、社會各方面の出來事を知らんとすれば國民新聞を讀め、國民新聞の社會欄は有益にして面白く、機敏にして誠實、興味多き續き物を楽しまんとする人は國民新聞を讀め、小説と講談は誰にも

る最新思潮、健全趣味の代表的大雜誌○先輩の言行は最も能く吾人に處世の方法を教ゆ○愉快なる生活を望む人は常に愉快なる精神的營養を採らざるべからず○苟も向上發展を希望する者は讀め○現代知識の淵藪○人格の修養、處世の指南、總べて趣味多き筆を以て記述す○坐が天下の諸名士に接して、其の高説を聞くの感あらん○偽りなき國民精神の告白は此にあり。(以入大人雜誌及び青年修養雜誌)
○文壇の趨勢をして一眸の間去來せしむ○每號巻頭には數十頁の長論説若くは創作翻譯を掲ぐ○新文壇の潮勢を知らんとするには甚だ至便○文章界の新問題は最も適切に解釋することを怠らす○最も眞面目に文藝の創作と研鑽とに努力す○文學は一國の精華なり○新なる希望と抱負とを以て起つ○我日本文學の發達布及を企圖し實行す○小説脚本

等總べて第一流の若手文士の手になる○文藝界に新運動を起さんとす○囚はれたる自然主義より離れて新ロマンチズムを鼓吹す○極東帝國の文壇に獨得の地盤を占む○文壇の時事を語らんとするものは必ず一讀せざるべからず○各方面の文士、詩人、若くは文壇の新運動に對して徹底せる批評を試む○西洋近代の傑作にして最も時代を動かしたるものを選択す○及ぶだけ原作に近き國語によりて翻譯す○青年文士の競技場○天下の秀才、一堂に集る○若き人々の藝術的情熱は必ずや文壇新運動の原因たらん○文壇の新舊諸誌に涉りて其の製作評論を選抜採録す○文壇に於ける一大權威たり○超然たる態度を執りて、藝術の尊貴に一身を委ぬ○本誌の旗幟は鮮明なり、繪圖趣味と幽默趣味との調和を計る○毅然として風潮の外に起つ○手紙に關する一

解り易く且つ面白きを以て評判也
國民新聞には断へず各種の興味あ
る懸賞募集の備しあり、國民新聞
を他にして眞の新聞を求むる人は
失望すべし、最も勢力あり、信用
ある我が國民新聞は廣告の效能絶
倫無比。

○大阪毎日新聞

「最新式」大阪毎日新聞は最新式の
輪轉機六臺によりて、最新式の印
刷術と最新式の活字を以て斬新正
確なる世界の出来事を最も敏速に
讀者諸君に報道す。「地球を一周
す」大阪毎日新聞の通信組織は世
界的なり、現に數名の社員は歐洲
北米、印度の三地に活動しつゝあ
り、其の通信機關は、冷れく地球
を包圍して残す所なきを以て、一

切の研究は之を網羅し盡す○東西古今の名文を選釋す○主
として作文の經驗と秘訣とを説く○文事に志あるもの、座
右には缺くべからざる雜誌○文章の組織、文章の効力、文
章の事業を知らしめんことを力む○巻頭には、時流文學に
對する森嚴なる評論あり○清新なる感情の聲に耳を假さん
とするものは本誌を見よ。(以上文藝)

○和樂光明なる新家庭を作らしめんと欲す○最も愉快なる
方法を以て物質的文明を説く○時々刻々の婦人問題の解釋
は本誌が全力を傾注する所○理想的新家庭の建設に努力す
○賢婦烈女の實歴は讀者を奮起せしむべし○健全なる趣味
教育の曙光○毎月掲ぐる季節料理は最も有益○名流の談話
になれる育児の實験は多くの暗示を與ふ○心安き相談相手
なり○淑女の品性を養ひ、良妻の資格を作る○家庭及び社

度我毎日新聞を手にはせば世界の形
勢歴々掌を指すが如し「廿世紀式
大活動」二十世紀は活動の天地な
り、我大阪毎日新聞は日々夜々に
新活動を試み、新面目を發揮し、
讀者をして常に無量の興味を以て
明日の新聞を期待せしむ、東洋廣
しと雖も、此の如き新趣向に富め
るもの他にありや「東洋文壇霸王」
小説は當代大家の執筆、講談は歴
史上有数の奇聞珍事、一篇出づる
毎に喝采湧くが如く歡迎せらる、
若し夫れ本紙の外交論、社會觀察
の記事に至つては既に天下の推服
する所、實に國民の一日も讀まざ
るべからざる米の飯なり。

○都新聞

都新聞は一箇の小天地なり、議論

交に必要な新知識を供給す○社交界に持てはやさるゝ名
花の俤は一々之を紹介して洩さず○あらゆる家庭に關する
趣味を觀察して之を解剖す○日常の料理法に於ては殊に新
工夫を凝らせる大家の考案を掲ぐ○讀んで肩が凝らず、而
かも趣味と實益の寶庫○衛生上の記事は、斯道第一流の各
専門家に托せり○日常食卓の惣菜より山海珍味に至る迄
記述し論評す○食味の研究に一異彩を放つ○迷へる婦人に
光明を與へ、醒めたる婦人に活氣を與ふ○新時代の婦人を
解釋するに就て頗る卓抜の見識を發揮す○本誌を讀み給
はば、不知不識の間に賢母となり、良妻とならん○本誌は
小學教育の科目と密接の連絡を保つ○假名も文部省の假名
遣ひに依る○少年雜誌界の思潮に率先して、内容外觀の
改善發達を計る○専ら少年少女をして嬉遊笑樂の間に新知

は各方面に亘つて公正穩健、報道は機敏にして簡潔、細大漏らす所なし、小説は挿繪と相俟つて或は縮圖或は挿繪、共に大家の手になつて眞に新聞界の花なり、「讀者と記者」及び「相談の相談」は他紙に類なき所、讀者のために計つて親切忠實を極むるを誇るに足る、若し夫れ紙質の精良、印刷の鮮明に至つては既に定評あり、都鄙の各階級を通じて十年以上の愛讀者多きは本紙の誇とする所、是れ廣告依頼者の便益を得らるゝ所以也

○萬朝報

記事も意見も穩健にして而も綿密なれば、何の事件に關しても、最も信頼して頼むべき新聞紙なり、一年三百六十餘日、日々味いて飽

識を得せしめんとす○感心すべき立志談、面白き史談、實益ある理科談具はらざるなし○小兒の智育と徳育とを平均に健全に發達せしむ○幼年教育は人生最も大切の事○毎號極彩色の口繪と表紙とを附す○少年漫畫は本誌の獨特○理學思想の開發に就ては最も盡力す○壯快なる冒險談は時代國民の元氣を鼓舞せん○一ヶ月毎に世界の重なる出來事に就て平易なる説明を與ふ○懸賞作文、考物等は本誌の呼物○不知不識の間に普通學課の知識を修得せしむ○無邪氣なる笑話少年少女諸君を抱腹絶倒せしむ○何處を見ても清新の趣味と潑瀾たる元氣に満つ○小供を愛する人々は讀め○何處を見ても無駄な記事なし○西洋諸國の少年が成長する時、要する所の知識を畫に依て諒解せしむ○高貴なる家庭應接室等を供へて一種の美觀を加ふる少女畫報○家庭に

きること無し、新聞紙中の米の飯也、人は一日も此新聞に離るべからず。

○やまと新聞

やまと新聞は新聞社會に於て第一と稱せらるゝ三大特色を有す、朝刊の外、尙ほ夕刊と正午版と日々三回宛發行して報道の迅速無比なるは其の第一なり、社員數の多きと發行部數の多きとに於て新聞界のレコードを破り、盛運無双なるは其の第二なり、東京市内に於て發賣數の多きこと第一位を占むるのみならず、津々浦々迄行渡らぬ所なきため、勢力信用の強大なる、廣告の效果の顯著なるとは其の第三なり。

○讀賣新聞

ありて一日も欠くべからざるもの。(以上家庭)

(十七)

貯蓄

貯蓄とは蓄積を指し、自暴は負債を増す○貯蓄は信用を得る資本○金は儲くるに術なく貯ふるには術あり○一錢を注意せよ、一圓は自ら注意するに至るべし○口と財布は閉づるに利あり○少しの金を粗末にする者は大金を失はん○貯蓄せんと思ひ立たば其日其時よりせよ○富の秘訣は貯蓄の二字にあり○末おもしろき一大業、先立つ物は資本なり○資本てふもの事缺かば、車に油の無きごとく、思ふまゝには行かざらむ○積めば塵さへ山となり、よらば滴も海となる、一錢二錢少くも、積まば萬金何かあらん○人の世に處する平生に於て臨時非常の用意を爲し置かざるべからず○平生此日に充つるの用意支度

明治七年創刊、年中休刊なし、論議公平にして報道また敏速、趣味横溢して實益豊富なり、文學美術上の評論創作多く、科學實業上の記事も絶えず、宗教教育に最も其の力を致す。

○報知新聞

新聞紙中の新聞紙たる報知新聞、論より證據、發行紙數東洋第一。

○時事新報及び大阪時事新報

政治、經濟、文學其の他あらゆる事項を網羅し、最も公平にして精確、而して趣味横溢、諸君日常の最良伴侶たり。

○中央新聞

中央新聞は時代潮流の先覺者なり之を讀まざれば自己の暗愚を他より笑はるゝを識らざる愚よりも尙ほ愚なり、讀むべき價值と讀まざるべからざる性質とを有するは中央新聞なり。

○二六新聞

二六新聞の意氣天を衝き、抱負世を蔽ひ、一代の人心を感導し、導し盡さずんば止まざるの熱誠と忠實とは世既に定評なり、正義の急先鋒、人道の擁護者、官僚政治家の一敵國、弱者の味方、平民の伴侶憐れめる者の指針、二六新聞は確固不拔、日夕此の意氣を發揮し、終始此の抱負を斷行す、苟も活舞臺に立つて活機を制し、活社會に處して活斷を得んとする士は、毎朝

片時も忘るべからざるなり○其初めは實に些少にて覺束なき事の如く見ゆれども知らずの間にいつしか多額の金高となり不時の費用は愚か老後の快樂自由一方ならず○只今日あるを知りて明日のことを思はず○此の如く立派に獨立の生計を營み其國の繁榮進歩するは専ら勤儉の心強くして外國人の及ばざる勞働を爲し、勞後の爲に節儉貯蓄するの風盛んなればなり○天は善く勤むる者に福を與ふ○貯蓄は經濟上實に重要な地位を占むるものにして資本の根源實に貯蓄に在り○勤儉貯蓄の念慮を養成せずして國力の強盛を望むは猶ほ滋養の食物を與へずして血液の欠乏を咎むると一般○儲蓄の必行を期する者は必ず今日より始め、日夜心を蓄積に用ゆべし○躊躇事を未來に延すは即ち萬事失敗の起る原因○古來蓄積勤儉を以て富を致す者は皆些少の額

を積んで其効を奏したるものにあらざるはなし○石の上にも三年貯金○辛棒強き人に黄金の花が咲く○勤儉なれば必ず貧窮にいたらず、わが財祿にて家を保ち、財を人に求め借らずして事足る○衆人は儉約の善なることをしらず、儉約なれば吝嗇なりとて、誹り笑ふは世俗の習ひなり○商賣人にして資金なきは弓あつて矢なきが如し○浪費せざれば困窮することなし○自他の爲に利益とならざる事に金錢を費すべからず○自己の生活を得んが爲に學び、且つ眞正に勞働し、貯蓄に注意し、自ら善事と信する所のものに消費せよ○十錢とつて十錢つかひ、二十錢取つて二十錢費ひ、宵越しの錢を持たぬと云ふ主義は、禽獸の道にして人道にあらず○人に雇はれて給金を取り、其の半を費ひ、其の一半を後來の爲に譲り、或は田畑を買ひ、家を建て藏を立て

此の誠虔熱烈なる助言者の言論に
聴くことを忘るべからざる也。

○信濃毎日新聞

信濃毎日新聞は最新式輪轉機によ
り印刷し、報道敏速、記事正確な
り、信濃毎日新聞は縣下に六十有
餘の賣捌所を有するを以て讀者極
めて多數なり、信濃毎日新聞は階
級の總べてを通じて讀者を有する
を以て廣告の效能極めて顯著なり

○簡易な中學修了
の捷徑

簡易に中學修了し得べき捷徑あり
容易に立身成功し得べき便法あり
乞ふ試みに大日本國民中學會の學
制を見よ、自宅に在りて僅少の學
費にて中學全科を修了せんとする

人、最善最良模範的中學講義録に
よりて講習せんとする人、都下私
立三大學無試験入學の特典を得ん
とする人、學費貸附を受け高等の
學校に入らんとする人は、大日本
國民中學會に入會せよ。

○學校へ行かない
でも

夏村「君はこの間から中學校へ來
ないがどうしたんだい」森川「家
の業務が忙がしい上に學費の都合
で退學したんだ」水村「そりや困
るね、今日の人間で中學校は是非
卒業しておかなげりや社會へ出る
事が出来ない、何とかして行けな
いのかね」森川「なあに、そりや些
つとも困りやしないが、學校へ行
かないでも中學教育を立派に修め

て子孫に譲る、是れ世間の人々の知らずく行ふ所、即ち
讓道と云ふものなり○金一錢以上は御預けになつて何時に
ても引出すこと自由御勝手なり○國は富み戰には勝つ、
もとを糺せば貯蓄なりけり○日々の心掛をば、怠るな不慮
の災難時を擇ばず○勤儉と身の養生をつとむべし○子弟に
は貯蓄の事を勸むべし、末は獨立後は安樂○日に月に厘毛
にても貯へよ、學資ともなり資本ともなる○貯金には樂し
みありて利殖あり○貯は人間萬事の基なり○世界にて名高
き人の手柄には、貯蓄の力多きとぞ知れ○かばかりの費途
はさのみ恐れじと、思ふ心ぞ我が仇敵なる○蟻さへも冬の
備へなすものを、貯へ知らぬ人ぞわびしき○貯金と慈悲と
なさけと義理と耻、身の一代に遣ふ爲なれ○親は氣にかゝ
るならひぞ子の爲に、積む貯蓄金はまた親の爲め○蜂は能

く食物を貯ふ、蟻は能く炎天に働き冬の備へを爲す○無用
の物は鏝一文にても高價なり○貯蓄は儲けるよりは大事業
なり○貧福の道の二つの追分や、寶の山に借錢の淵○油斷
すな月日はかなく送る人、末は貧苦の淵に沈むぞ○大海日
入り來る人の掛聲は、月と花見に科にこそあれ○かばかり
の事は、浮世の習ひぞと、許す心の果ぞかなしき○恐るべ
し色と酒とに溺れては、末は浮かれぬ借錢の淵○火の元と
金と勝負と色と酒、身の用心をさつしやいませしやう○身代
は坂に車を押す如く、油斷をすれば後へ戻るぞ○おほ年は
常にこそあれ勤むれば、いつも正月すみよしの松○あし
きには映らぬがよし鏡餅、よき事に搦く家ぞ目出度き○初
夢の徳は堪忍御まん歳、愛嬌ありて榮えめでたく○初夢の
浮世わたりの人はたゞ、なかの良いのが寶船なり。

る方法があるから「陸」そりや一體
 どんな方法だ「森川」此の中學講義
 録を讀めば可いんだ、結局、東京
 の有名な學士や先生達が中學校の
 課目を講義したものを會員に頒布
 するんだから業務の餘暇に勉強が
 出来て便利だよ「天野」併し中學
 全科をやるのは、随分時日がか
 るだらうネ「森川」所が中學校全
 體、即ち五年間のことを正則科で
 は二ヶ年、速成科では十五ヶ月で
 卒業が出来る「星井」そりや非常
 に便利だ、一體、如何すりや會員
 になれるか「森川」譯はないさ、
 大日本青年中學會へ葉書を出せば
 會則を送つてくれる、それに講義
 録の見本も附いてある

○新式英語講義録

今の世に英語を知らざるは、猶ほ
 昔時いろはを知らざるが如し、本
 會は最新の方法と最廉の會費とを
 以て完全に英語を速成せしむ、今
 や入會の最好機なり、餘暇なくし
 て學ばんとするものは速かに入學
 せよ、詳細は會則に詳かなり。

○英語獨習講義録

何人にも解し易き英文一致體を用
 ひ、英語の初歩より發音、綴字、
 音讀、譯讀、文法、會話、作文、
 和文英譯、英文書翰等一切を網羅
 して開發的に教授し、自由に英文
 を讀み、英文を草し、英語を話し
 得る程度迄教ゆ、詳細は改正會則
 を見よ、斬新なる組織、卓越せる
 特色、一目瞭然。

○商業講義

當代廣告文例

保 險

治に居て亂を忘れ無事の日に當て豫め不慮
 に備へざれば大は以て國を亡し小は以て家
 を破る○強健の者も必ず長生を期すべからず○職業、住所
 旅行の危険は凡て無制裁にして保険料の拂込も亦自由○解
 約を爲すにも特殊の方法あり○最も低廉なる保険料にて簡
 易懇切に契約を取扱ふ○基礎鞏固なれば罹災の場合保険金
 の支拂敏活なり○財政整理し保険金の支拂速なり○相互
 保險會社の開祖○最も精確且つ斬新なる新法により最も簡
 易且つ懇切なる取扱を爲す○掛金の拂込を爲し難き場合に
 は被保險者の利益となるべき種々の便法あり○保險證券を
 擔保として年五朱の利子を以て貸金を爲す○或條件の下に
 現役軍人の保險を契約す○汝の失錯と愚鈍とを天に歸する
 勿れ○災害は萬人の免れざる所なり○運不運は人生の出來

事の性質に存せずして寧ろ吾人が此出來事に對する方法如
 何に存す○何人も我が運命に甘んぜず○保險は最も利益あ
 る一種の貯蓄なり○盜賊を見て繩を手にするの愚を學ぶ勿
 れ○人生の得意失意側り知るべからず○古來火事は江戸の
 花なりと云ふも是程恐るべきものはなし○一朝猛火に逢へ
 ば家財器具忽ち灰燼となる○事、突嗟に起る時は到底人力
 を以て如何ともすべからず○大阪の大火の如きは近年最も
 猛烈なるものなり○人生の悲劇到る處に演せらる○是等の
 災厄に對して相當の準備を爲す必要あり○若し準備を忽諸
 に附する時は思はぬ災厄に罹りて狼狽する事あり○人生は
 眞に轉ばぬ先の杖なり○今日に於て保險の利益を知り給は
 ざる人なからん○萬一の用意さへあらば何日如何なる場合
 にも安全なり○眼前の小利に拘泥して永遠の大利を忘るゝ

第二章 廣告文資料

教育なき實業家が社會に成功せる時代は既に過去に屬せり、現時の社會に於ては、實業界も亦所詮、知識の競争に他ならず、本講義録は實に本邦唯一の商業獨習機關にして、苟くも今日の商業經營に必要なる事項は一として洩す所なし則ち學校教育を受くるの暇無き者は本講義録によりて最近の實業に關する知識を修得すべく、又既に學校教育を了したる者と雖も、最新の商業に關する學術を了解するが爲めに本講義録に就て學ぶの要あり、加之、實用、速成、趣味、平易は本講義録の四大眼目とする所にして、文章は簡易なるが上に傍訓傍釋を施し、且齣頭に註解をさへ添へたれば、如何に繁忙なる實業界の人々も、又假令學力の至

勿れ○備へあれば憂なし○人生は慘風悲雨に滿つ○子孫の爲に安全の道を講じ置かざるべからず○遺族の幸福に就て考ふべき必要あり○暴風怒濤の爲に船舶の覆へるなきを保せず○海上は時として大なる危険に襲はるゝ事あり○貨物の安全を保證す○如何なる損害を受くるも保險の備へさへあれば大丈夫なり○今日只今直ちに加入せられよ○猶豫は失敗の原因なり○猶豫には危険あり○災厄の後に狼狽するは見苦し○進んで戦ふ勇士は退いて守るべき備へを爲す○萬一の僥倖を求むるは猿猴の月を捕へんとすると同一なり○老後、殘生を送る資を作り置くことは最も必要○米國にては保險最も旺んなり。

(十八) 瓦斯及電氣

らざる子弟と雖も、更に難解の憂なかるべし。

○カード式簿記通信教授

事業の安固は會計の整理に基く、然かも舊簿記帳の迂遠にして複雑なる事務を整理するに足らざるは最早争ふべからず、唯カード式を採用せば、事務は勞せずして具合よく整理せらるべし、委細規則書にあり、郵券三錢封入申込あれ。

○女子大學講義

女子が家庭にありて高等教育を受け得るは天下唯本講義あるのみ、此の便宜ある講義録は、今や新學期開始、本月限り入會金を免除す此の際入會を欲する淑女は申込次

瓦斯

時間の經濟、勞力の經濟、料金の經濟○塵の出来る心配なく、火災の起る危険なく、場所を取らず納屋の必要もなし○燈火といふ燈火の中で最も明るく最もお安く最も美しくて氣持のよい陽氣な燈火は瓦斯白熱燈○商賣は之に依り繁昌し工場銀行會社は之に依り事務を手早く處理しお邸では之に依り心持よく愉快に夜を過さる○瓦斯煖爐はマッチ一本あれば點火せられ煩る輕便○點火すれば直ちに暖るを以て來客の時杯頗る重寶○瓦斯煖爐は理想的煖房具として唯一新流行品○活栓を開けば瓦斯は具合よく發生し活栓を閉づれば自然に瓦斯の發生やむ○發生し來る瓦斯が強き壓力を有するやうにすること自由自在なり○經濟的にて便利なる文明的の一大燃料○涼しき庭の行水にも樂しき家庭の炊事にも此の瓦斯コースを

第に女子教育に對する各名家の意見を蒐集したる見本付規則を呈呈す。

○惡筆家の福音

如何なる性來の惡筆にても、本會の特許速成法に依れば、直ちに上達すること五十餘萬の卒業者の成蹟に依つて明らかに證明されて居る、ゆゑに速に入會して大に能書家とならるべし、今は習字の最好期節なり。

○實用女學講義錄

女子唯一の目的は家庭の主婦たるに在り、本會講義錄は高等女學校令に準據するは勿論、勉めて實用に重を置き、以て圓滿なる家庭の主婦を作ることと期す、講義錄の

内容は健全豊富、講述最も平易にして懇切、總ふり假名の談話體なれば何人も解し難き憂なしと信す

○早稻田講演

學術界と實社會との區別は徹せられたり、今や新知識なくして實務に當る能はず、新事實を資料とせずして學理を脱く能はず——此意味に於て本誌の發刊は清新の氣に充てる早稻田學苑を活社會中に投じて、世人の利用に委せんとするもの也——今日は最早漠然たる断片逸録の類のみを掲ぐることを以て所謂「雜誌」の能事とすべきに非ず、蓋し本誌に誇るべき特色ありとせば、内容の充實、たゞ此の一事のみ。

○太陽

當代廣告文例

用ふれば便利無上○燃料として最上無比○天下廣しと雖も本品の右に出る瓦斯マントル有りや○偉大なる光力と驚くべき耐久力を兼備す○一個を求め試に火を點じ金槌を以て瓦斯管を打ち驗されよ○銀座の夜は瓦斯にて美化せらる○夜の色彩を豊富にするものは瓦斯なり○夏季去らぬだに蒸し熱き臺所も清く涼しくす○眞に經濟に重きを置かるゝならば必ず瓦斯を引用せられよ○徳用多き點に於て日本一なり○日本風の室にも適し西洋風の室にも適す○瓦斯の光りは人の顔を美しく見せる長所あり○急に養焚を爲す時には之に限る○新年のお雑煮は此瓦斯を用ひて煮上げ給へ○進歩したる臺所には必ず瓦斯竈あり○火力の加減は意の如くなるべし○輕便にして愉快なり○瓦斯の光輝く事務室には勤勉の光輝く○斯の如く一般に大なる利益を齎すものありや○之が引用を一日怠れば一日の損なり。

電氣

は二十世紀に於て最も進歩せるものを使用せり○菊形反射鏡を附する故に光火強大○美しき人造皮を着せたる圓筒形の金屬製なれば優美高尚○旅行夜間外出には勿論來客の送迎便所の往復物品の搜索に甚便利○光力非常に強く使用期間も亦他の粗製品の數倍を保つ○彈盜、窃盜頻々たる折柄各家庭の必要品○破天荒の特價を以て提供す○壽命亦長久なる最良品○夜間電燈の明るいのは爽快○舊式電球は早くやめてどしどし此明るい電球に代へ給へ○一番保ちが良くて經濟なりとの大好評を博せる電球○電燈の光は快活にして陽氣なり○其光力に於て瓦斯に劣らず○點燈用として

第二章 廣告文資料

四二一

日本唯一の大雜誌、内容倍々充實し面目革る、執筆者は現代一流、評論創作皆是代表的産物。社會各方面の觀察。時代傾向の有力なる暗示。讀者は全般に過す、偽りなき國民精神の告白。

○獨立評論

本誌は政治を論ぜんと欲す、されど所謂其の日の煩瑣なる政務を論ずることを欲せず、本誌は政治學の高壇より政治を論ぜんと欲す、本誌は帝國主義其の他の主義を評論せんとす、本誌は黨人たることを好まず、本誌は常に現代の事及び人に對しては隔離的態度を取りて公平なる批評家たらんと欲す、本誌は又た宗教、哲學、倫理の問題に對して常に忠實なる注意を拂

極めて安全なり。

(十九) 寫眞及蓄音器

寫眞

活動寫眞は其字の示せるが如く、活ける寫眞なり、動く寫眞なり○樂しき家庭の紀念として、夫妻子女相會して歡娛するの光景を、簡單なるフィルムに撮り置きて、後日の思ひ出の材料とも爲さんには一家和樂の上に一段の光彩を添ゆるは必定○中流以上の家庭にして、老後を思ひ若くは今日の快樂と幸福とを永遠に留めんとするに志あるの人は、何ぞ進んでフィルムを撮影し以て、百年の紀念物とは爲さざるや○社會の新事象に就て、之を逸早く最も敏捷に遺憾なく世人に紹介す○深き印象を與へ、多大の興味を感ぜしむ○活動寫眞の尊ぶ所のものは、眞を寫すに在り、偽を描く能はざるに在り○實物に

はんと欲す、本誌は又如何なる小説が現代に讀まれつゝある乎を紹介せんと欲す、現代の雜誌界は招牌の世なり、色彩の世なり、讀者に媚ぶるの世なり、大鼓を鳴らし笛を吹き、紅を點じ、紫を點じ、讀者を誘惑して讀まざる能はざらしむるは現代の風習なり、本誌は借す、是れ雜誌として存すべき一術なりと、されど本誌は他の道を行かんと欲す、本誌は聲と名と色彩とを以て賣ることを欲せず、本誌は唯實益と實質とを以て賣らんことを欲す、本誌は如何にして多く讀者を益すべく、如何にして多く實質ある智慧と興味とを讀者に呈すべき乎に就て常に意を用ひんと欲す、此の點に於て本誌の手段は或は士族の商法たるやも知るべ

接するの心を以て之を迎へざるべからず○白銅一個を投ずれば二時間三時間も隨意に見物し得らる○斯る調法にして且つ便利なる娛樂は決して之を他に求むるを得ざるべし○天文、地理、歴史等に關する高尚なるものを始めとし、演劇、遊戯、手品の末に到るまで、宇宙の萬象、社會諸般の出來事を網羅せざるなし○今日の世界に於ける多數人士の娛樂として、一般社會の嗜好として最も適當。(以上活動寫眞)
○佛國寫眞學者ユミエール、オギユースト兩氏の協力發明に係る理想的寫眞○所有天然の色彩を其儘描寫するもの
○カーボン印畫、ブラチノタイプ、オゾプローム、プラタ
イプ等の各種の印畫は孰れも繪畫的の趣味を有する高尚雅
致なる美術的寫眞○人像畫に於ては小兒は赤色、老人は褐
色に適する如き其他青紫黃綠等各御希望に應ず○弊館の撮

からず、されど舉世酒々として商人の術を以て文字を賣るに當りて此の一箇の迂拙手段あるも天下風致の上に於て決して無意義のものに非ざるなり。

○新小説

おそよ此の廣告見たまはむほどの人、文學の意義、美術の趣味を知り給はぬはなかるべし、もしそれ日の出づる國に住むで、小説の何たるかを知らざらむは、沐猴にして冠するもの歟、新小説は偉なる意味を以てして、文壇の歌舞伎座なり、世の花は偏にこゝに艶を凝らして、凡そ色香の傾しき、心の優しき、容姿の美しき、一つとしてなきはあらず、然も海洋の粗きを滌へ、山嶽の高きを備ふ、佳人

影法は凡て美術的の趣味を有す○歐米流行最新式の鏡玉を用ひ光線の採り方に就ては特別の装置あり○先年米國寫眞大學に入學修業せり○遍く内外の貴需に應ず。(以上寫眞)
○發音の高調明晰なるは從來其比を見ざる所○耐久力の如き他メレコードの二三十回にして磨滅するに比し優に十倍以上を持續す○今や本邦に於て飛行機の現はるゝと同時に一大發明に係る此の蓄音器を提供す○専門音樂家をも驚嘆せしむる高尚なる樂器○現今蓄音器界の各長所を採擇せるもの○銷夏の娛樂に缺くべからず○此の最良音譜を聞かざる人ありや○機械堅牢にして強聲鮮明○喇叭は花形琥珀色なれば體裁頗る良し○價格低廉にして品質精良○發聲部分隠匿せる爲め針すれの音なし○舞踏室に備ふれば十數人の樂隊より優る事數倍○米國某發音器會社の製品はあらゆ

が常住の鏡、紳士が不斷の同伴、これに若くものあるべからず、月を見よ、其の形圓に滿たすして、暗き浮世を照らさずや、月の朔日月々の一冊、手に觸れたまふだに清光膚に浴くして、芳香料に馥郁たらしむ、巻を開けば、日輪の蕊、花瓣三百枚。

○出でたり五月號の婦人世界

村非弦齋氏の「人情論」男女共必讀の大文字、下田歌子女史の「女學生の言葉」は改むべき言葉を指摘し新渡戸博士の「女天下の家」に現代の婦人も男子も必讀、當代諸大家の「平政子論」は稀世の大女傑を八面より觀察し描寫し批評し小説よりも芝居よりも面白し「女子高

る蓄音器中に在つて最精良品○一臺の演奏能く大劇場數千人の聽衆を満足せしむべき發音器を始め多數の最新曲譜あり○家庭の團樂には缺くべからざる者なり○名優の聲色を聞くべく第一流の義太夫の美音をも聞くべし○家庭の内に賑かなる演藝會を催はず如き感あり○冬の夜長の徒然を慰むるには最も適當なり○家庭の小宴を催ふす席上に於ては餘興として極めて妙○義太夫、端唄等を稽古する師匠ともなる○勇壯なる琵琶歌、愉快なる浪花節を隨意に聞くを得べし○單に自己を慰むるのみならず多數の人々をも慰むる事を得ん○蓄音器のある家庭は常に賑かに快活の空氣に滿つ○商店に於ては顧客を店頭に引付ける力あり○一種の景氣を添ゆ○蓄音器を備ふる小賣店は常に繁昌す○最初購入する時は高價なるが如きも其効力を考ふれば天下斯の如

等教育の問題は諸名士に依て各方面より論ぜられ、「日本髪と東髪」の優劣は東京第一流の女髪結四人が紅唇を翫して大に論ずるところ耳を傾くべく「自殺した若い女の記」は美術學校講師某の麗筆事實にして然も小説より奇なり。

○女學世界

知識の寶藏——女學世界は家庭及が社交に必要な知識を供給する唯一の婦人雜誌、其の知識は無盡蔵にして、而かも常に清新なり、生活の同伴——時々刻々に進歩し活動しつゝある社會の現象を觀察批判し、婦人の生活に對して絶えず指針を示すは本誌の獨特なり、精神の糧食——雲を排し光を示し精神を培ひて吾人の往くべき道な

き至廉なる物あらんや○笑聲喜聲は必らず蓄音器に伴ふ○高尚にして清き娛樂の第一なり。(以上蓄音器)

(二十)

劇 場

新舊俳優行

外國の貴賓を迎へて演藝を観覽せしむるに適す○裝飾は善美を盡し、觀客に快適の感と與ふ○本劇場は成るべく夜間のみ短時間の開演を爲し、晝間業務を終へたる人々に高尚なる逸樂を與へんと欲す○器械的設備に依て人力を省略するを以て幕間極めて短し○演藝中幕間には奏樂を行はしむ○夏季は總べて三十餘箇の煽風器を備へ觀覽席の壁側より冷氣を送り、且つ場内の換氣を一層に催進せしむ○茶屋若くは茶屋類似のものは一切劇場または其周圍に存置せしめず○文明的施設として備はらざるなし○觀劇のみの御目的に對しては、觀

明にし、日常生活に活氣を與ふるは本誌の特に努力するところなり、趣味の源泉——淑女の品性を養ひ其妻の嗜味を養ひ、賢母の常識を養ふために、絶えず健全なる趣味を供給することを怠らざるべし、健康の守神——所謂生存競争の活世間に處し、健康を保持して、健闘せんとする婦人の爲めには、本誌は最も善き師友なり。

○可愛い坊やより

おとうさま、おかさま、家のおもちやば、もう飽いてしまいましたから、あのおもしろい、うつくしい、繪ばなしを買つて下さい、切やばお菓子よりも「繪ばなし」が好きです、「繪ばなし」には、面白のお話と、面白繪とが澤山ある

覽券以外何等の出費を要せず○屋上の庭園は百數十坪あり、眺望絶佳○運動場の設けあれば、幕間には新鮮なる外氣を呼吸し給ふに宜し○寒冷の候には屋頂より攝取したる新鮮の空気を一たび地下室に導き、溫暖空氣となして觀覽席の座下に送る○觀覽席と場内の美とは、忽ち實世間と隔離して、美神の殿堂にあるが如き思を觀客に與ふ。(以上設備)
○脚本は、當代の傑作を選む○新時代の潮流に觸れしものを上場す○固陋なる態度になりしものは漸じて採らず○高尚にして純潔なる詩味多きものをも加ふ○現代を解釋したる新社會劇は最も力を盡して試演せんとす○大々的懸賞募集をなしつゝあり○座附作者は新思想を抱持して劇壇に雄飛しつゝある新進青年作劇家某氏を聘せり○脚本部を新設

さうです。

○幼年畫報

見いさいな、見いさいな、みんな来て見いさいな、お正月のお祝いに皆様おなじみの、幼年畫報は美しい、お衣服を飾りつけて、お目出度うとまいます、表紙の綺麗な印刷のおもしろい、書き初めあれば、羽子の遊びや凧あげ、お神樂も来れば、お馬もはしる、お伽話も面白い、お菓子を食べるより、どんなに愉快でございませう、お菓子はお腹の毒になる、畫報はお腹の爲めになる、みんな来て見いさいな。

○貯金銀行

本行は明治三十三年の創立にして

我邦に於ける据置貯金の嚆矢也、今や加入者現在七萬、契約高一千萬圓以上に上れり、市内は御便利に又最も確實に集金仕るべく候、地方の御方にては此の貯金を爲し得らるゝ便利あり、營業の榮は御報次第直に進呈可仕候。

○増資と貯金

資本金は従來の十二萬圓を五十萬圓に増加し、基礎の鞏固を圖り、益々行務の發展を期したり、貯蓄預金は年五分の利率にて一錢以上御預り致します、當銀行は預金十二回以上御掛繼の方には對人信用の御融通も致します、其の他一般銀行業は勉めて親切丁寧御取扱ひ申す、月掛定期預金者には、「身の爲め國の基」と題する小冊子

して、囑託大家の執筆を請ひ、續々、新史劇、新社會劇を交互に演すべし○時としては舊劇の復演を行ふこともあらん○某日大家に起稿を囑せり○興味ある社會劇の實演は將に世を驚かさんとす○新舞踊劇に關しても、別に開拓の歩武を進めんとす○某博士の苦心になれる新舞踊劇は恐らく劇場に多大の影響を及ぼすべし○明治の默阿彌式なり○全劇場に革新の空氣を吹込まんとす○着眼、形式の新しさものみならず、其の内容は直ちに現代に觸接す○時代精神を背景として最も切實の感と與ふ○一番には某氏の新史劇「我執」を控へ、中幕には近松の「壽門松」大切は喜劇「求婚」を演す、配合最も妙○ゴロッキー全成期の傑作、近代寫實劇の標本とも云ふべき「どん底」を演す○スツッケンの傑作「飛行機」を上演せんとす○奇想縦横、總べて

人の意表に出づる所に深き妙味を藏す○故らに新奇を求めず、大膽を衒はず○徒らにモダニズムに拘泥して、詩美を没却するの愚を爲さず○結構雄大、波瀾曲折を極む○着想奇抜、熱情に満ちたり○時代の欠陥を暴露して、冷かなる諷刺の味を加へたるもの○新派劇として従來とは全く異なる味あり。(以上脚本)

○名優某の東上によつて舞臺に光彩を添ゆ○某の「紙治」は天下第一品○團菊死後の劇壇に一大異彩を放つ○久振の東上なれば何卒御最負を懇請す○某も今回の登場を以て空前の榮譽となせり○開場前より最も熱心に稽古しつゝあり○眞面目に研究を重ねつゝあり○成るべく舊形式以外の妙味を發揮せしむべし○某の出し物「勸進帳」は當今此の優を除いて之れ以上に出づるものなし○俳優各自の新研究によ

を差上げます。

貯藏銀行

普通貯蓄預金——一錢以上は何程にても御預り申すべし、年金貯金——一度に元金をお預けになりて年々又は月々に御約束の年限に割當て御渡しすべし、養老修學、商工嫁資貯金——月極め又は年極め等にて掛金をなされば、満期の時一度に纏まりたる金を御渡しすべし、定期預金——金百圓以上なれば六ヶ月又は一ヶ年の期限にて御預り申すべし、當座預金——小切手にて何程にても御引出御勝手なり、特別當座預金——金五十圓以上御預りいたし日歩勘定にて利子を附す、貸付金——御預り金ある御方へは特別低利に御用立申すべ

つて別種の味を出すべし○一座は若手の達者揃なれば自然活氣ありて面白し○今回の下阪は十年振なり○元、當地出身なれば、特別の愛顧を垂れ給はん事を請ふ○某の「切られ御富」は當今十八番中の十八番として名高し○老優某も一座に加入して、一世一代の藝を演ず○新教育ありて眞面目なる一團○總べて新脚本を演じて、新味を發揮する覺悟○新時代を代表する有望の青年俳優○劇界新運動の先驅○某の「新體詩人」は滑稽趣味を發揮するに妙を得たり○江戸ッ兒氣質を表現するに獨特の長所あり○技、正に神に入る○驚くべき技巧、讚嘆すべき態度○此の一役だけ引受けて畢世の妙技を揮はんとす○本人も非常の決心を以て此の大役を引受けたり○新劇壇に長き生命を有すべき第一人○バタ臭き西洋劇の趣味に飽ける人々は、名優某の渾然たる

妙技に酔ひ給へ○洗練されたる古典藝術の結晶○久振に歸京せる一座に某を加へて秋の第一回興行を試む。(以上新藝俳優)

雜種の興行

新時代の奇術として最も注目すべきもの○自轉車曲乗は第一の呼物○感應力、靈動力の試演は天下を驚倒すべし○不思議と云ふ詞は此技術を見て始めて必要を感ずべし○不思議と云ふことを知らざる諸君は速かに實見せられよ○空中自在皿飛行は眞に破天荒の奇術○如何なる物品と雖とも觀客をして箱中に收めしめたる物を透視適中する毎に一毫の誤なし○天下の不思議世界の一大問題○從來の奇術は顔色なし○佛人某の一座、精妙なる技術の圓熟は他に見るべからざる所○拳闘術の雄壯は人目を快にす○犬の曲藝は從來のものとは異なりて靈妙

塵も積れば山

し、擔保品付手形割引——確實なる株券又は公債等なれば、精々低歩に割引致すべし、尙ほ毎月五日(一月は六日迄)の御預り金へは其の月より利子を附す、貯金の御便利をはかり貯金函を御貸申すべし紛失盗難を防ぐため御望みにより通帖を保管すべし、營業時間外又は御急ぎの方には特に金庫の設あり。

塵も積れば山となります、精出して、おためなさい、千丈の堤も蟻の穴より崩る、油断しては直に失ひます。食ふと、着ると、住むための他に、用意の金は貯金、遠慮あれは近き憂を免かれる、賢い人は貯金、貯めるなら今からにな

○富強の基

勤儉貯蓄の必要は申上ぐる迄もなけれど、今各々方が毎日一錢(毎月三十錢)づつ貯蓄せられれば、一年間には一人にて三圓六十錢除となり、三百萬人にては、實に千萬圓の大金となる、我邦六千萬人なれば、二億二千萬圓といふ驚くべき大金となり、之れを五年續けなば、何十億萬圓となるが故に我邦の富強も此の零碎なる貯蓄に基くものと云ふべし、此に氣付かれなば、即刻貯蓄あるべし。

○貯金の必要

我日の本の人々は、大和心の櫻花文武の道に暗からず、野山の業も

ゆたかにて、進みて止まぬその中に商のわざの唯ひとつ、遅れ勝ちなるくやしさを、立てや人々立てや立て、商の路はいや廣く、海山つきの寶なり、商の徳はいと多く、富強の基此にあり、立てや人々立てや立て、海路陸路のわからなく商の道擴張し、五大洲をば相手とし、世界の富を掌中に、集めて富の國とせん、それにつけても活動の準備に要するは資本ぞや、資本の上に事欠かば、車に油なきが如く、思ふ儘には行かざらん、積むべきものは資本なり、朝な夕なに氣を付けて、やうなき費用はぶきつゝ、残らん金を貯へて、積み上げば塵さへ山となり、よらば滴も海になる、一錢二錢少くも、之れ萬金の基なり。

當代廣告文例

奇拔○某國の鶯と稱讚されし某嬢の獨唱もあり○在來の奇術をして顔色なからしむ○米國より新たに歸朝したる魔術師○某大奇術師より秘訣を授かりて歸朝せり○浪花節の革新を企て、成功せる第一人○同人の出演には大抵滿員となる○武士道を講ずるに當りては悲壯激越○其の節調の妙は他の模すべからざる所○婉轉巧妙なる節廻しと音量豊富なるとは天下一品○熱心と圓熟とは當人の特色○紳士淑女の來聴續々○初日は當人得意の演題にして大喝采を博すべきもの○御馴染の女義太夫界の花○今秋東上して弊座の舞臺に現はる○例の愛嬌と艶なる肉聲は多數の聽客を魅す○不思議と云ふべき程の大人氣○十八番のみを語る筈○今回の東上は二年振なれば聴逃さぬやうにし給へ○技藝一層進歩して、圓熟渾成の妙味あり○恍惚たらしむる魅力有す

○美の殿堂に逍遙する感あらしむ○藝術の芳香に心酔せしむ。(以上浪花節、義太夫)

株式

(三十一) 株式と債券
經濟上に於ける發達に伴ふ○資金の需要益々増加す○需要の多きこと驚くべきものあり○需要の缺乏を舶來品の供給に待つ○國家致富の本義に背く○本社の製品は、最新科學の知識を應用す○販路は頗る好望○愛國的精神に基づけり○廣大なる販路を開拓すること容易ならん○豊富なる資金の供給を要す○國運發展上の妨害となる○資金の需要供給を圓滿ならしめんとす○財界頗る多端○電力を購入し之を以て東京市一圓に電燈並に電力の供給をなさんとす○電氣諸機械の販賣をもなす○麥酒醸造販賣を目的とす○從來のビール以外、醇美なるもの

第二章 廣告文資料

四三三

○本社の大勉強

本社は積立金九百二十餘萬圓を有す、保険申込人は安心して後事を託するを得べし、本社は開業以來、漸進の方針を取り、基礎確實、動かさること富嶽の如し、本社は明治十四年七月開業し、我國に於ては生命保険の開祖なり、生命保険の効用は世人既に熟知せるを以て今多言せず、創立以來、拂渡したる保険金高は六百餘萬圓なり、全國權要の地に支店を置き、到處に代理店あり、日曜大祭祝日を除き毎日保険申込を受く、規則書は葉書にて御申込次第送呈す。

○火災保険の特色

本社營業の方法は確實を主とし、

を供給せんとす○清涼飲料の改善に努力す○衛生上の急務なりと信ず○社會の歡迎は非常なるべし○本社は醸造場を某地附近に設けんとするが故に地の利、販賣の便に於て優越なり。

債券

債券は百圓、五百圓、千圓及五千圓の四種に分つ○御希望の方は至急御申込ありたし○支拂期到達の債券及利札は共に郵便貯金にして預け入らるゝことを得べし○毎年二回、抽籤に依り償還すべし○本公債の元利金は歳入及市税を以て優先に支拂ひ得べし○極めて便益なる放資物なり○本債券は左の各種政府上納擔保品又は代用證券として一般融通上最も便利多し○拂込期限内に拂込なき時は全然無効とす○斯くの如き有益なる募債は空前なり○好機會を逸せらるゝこと勿れ○應募申込高

が募集總額を超過するときは、申込價格の高きものより順次募入す○申込價格には端數十錢に満たざるものは附せざる事○同價格のものは、適宜募入を定む○無記名利札附とす。

(二十二) 四季

季

春淺く風未だ寒し○空の心は未だ融和せず
點々として咲初めたる最と風情あり○氣高き姿、快き匂ひ
○若草萌え出で、野には羊眠る○海邊には春來ること早し
○昨日まで冬枯れとのみ思ひし野邊に青き物見え初めたり
○橋畔の柳漸く青み初めたり○花は蕾なる時が最も風情多く最も餘韻あり○鶯の遠音に覺ゆる柔かき夢心地○水溜む小川の畔に立ちて空を仰ぐ○春光融融々として心地極めて

○非射利主義

本社は歐米相互會社に倣ひ、非射利主義を以て世に出つ、故に契約人が受くる所の利益と便利は、大に他會社に於けると異なるものあり而して會社の確實と安全を維持す

ると云ふことに至つては、役員全體の精神を傾注して、之が努力をなすべし。

○眞宗生命保險

當會社の約款に従つて保險契約を爲す者は最も多くの便宜を得べし當會社にて引受くる一人の保險最高額は一萬圓なり、當會社の保險は凡べて斬新にして且つ公平なる方法に依り計算したる利益附なり當會社は掛金割増(年増契約)の代りに保險金控除(或る年限内に死亡せば)の新法を用ゆ、當會社は本願寺保護の下に全國に涉り、有力なる眞宗信徒の組織せしもの、當會社は常に眞宗信徒に限らず、何宗旨の人にも保險契約を爲すに取扱上彼是の別なし、會當社は短

良し○路邊の枯草も緑疎らに萌え出づ○緑なす麥の葉漸う伸び始めぬ○春の雪は何所となく艶きたり○手紙に封じ込められたる梅の花瓣を見て田舎の春を思ふ○寒さ次第に薄らぎて何處となく温みを加ふ○風既に春めきて輕暖、心の春を喚ぶ○春の淡雪、ちら／＼降る○梅花俄に蕾を破りて海邊の風匂やかなり○處女の肌の香を嗅ぐが如く人の心を咬る春は來れり○春の來りしを見て何となく蘇生する心地す○初鶯の聲に輕き輿を催ふす。(以上早春)
○花信切りに臻る○水は暖かに流れて春の日の長閑なるを讚美するに至れり○若草は戀を囁く如く微風にそよぐ○一路の春川溶々として流る○風和かに野の草を吹く○花か人か、人か花か○淡雲微月、花影靡らなり○行く處として花ならざるはなし○野も山も小川の畔も悉く花を以て飾られ

期掛金拂込の便法あり、又保險證券を擔保に貸附の便法あり。

○コークスの時季來る

無烟無臭にして薪炭代用の重寶品なり、その火力は三倍、費用は僅かに二分の一に過ぎず、新しき家庭文明的厨房に須臾も缺くべからざる瓦斯コークスの使用を怠るものは、未だ以てホームの快樂を語るに足らず。

○瓦斯の美と經濟

燈火用は美麗を極め、煮焼用は輕便を極め、暖爐用は自由自在、機關用は經濟的、行く所として可ならざるなし、今や瓦斯を用ゐざる家庭は時勢に遅る。

瓦斯引用の大御便利

當代廣告文例

たり○春雨霏々橋畔の柳青く絲垂る○霞かと思れば満目悉く花○花に酔ひ花に戯れ花と語る○花の蔭に眠りて目覺むれば月靜かに山頭に上る○櫻花風に舞うて人の衣袂に薫ず○落花點々滿地を彩る○胡蝶片々として花の香を尋ねて飛ぶ○柳櫻をこき交せて都は春の錦を以て装はる○雲雀は野に嘯り山には霞靨○落花繚亂として暮鐘の音寒し○花笑ひ鳥歌ふ陽春三月の空○夕の嵐にちら／＼と散るや花瓣○春雲月を籠めて夜色灰白し○空氣淡くして白雲剛々○若きも老いたるも花に狎ひ花に遊ぶ○江戸は櫻花の都○バツと咲いてバツと散るのが櫻の特色○咲亂れたる櫻花を譬へて云へば妙齡の佳人の盛装するに似たり○美しくしく装へる人と微笑める花と何れか美しくしき○雪洞の光淡き所夜櫻靡ろに霞む○花より白み初めたる東の空○櫻花に對して思ふ事

第二章 廣告文資料

燈火用、煮焼用、煨燻用の瓦斯管取附費用(材料共)本月より申受けざることに改め、ランプ代は御自便とし、一燈に付若干錢以上御好みの品を取附け申へく候。又瓦斯籠、七輪、西洋料理器、湯沸器等は御望に依り、月賦にて最も格安に販賣可仕、瓦斯煨燻は別に損料貸の便法を設け、低廉の料金にて御貸渡可申上候。機關用は、「メートル」の位置迄の取附費用を申受けず、又機關は御便利の爲め、英國製最優等品を三ヶ年の月賦にて最も割安に販賣可仕候。(三十九年頃の廣告文)

○瓦斯の時代

市街の美観は、瓦斯の光によつて一層其の美を増し、邸宅の雅致は

多し○人生風雨多し、花にも亦風雨を免かれず○咲誇るは東の間なり○未だ散らざる中に盛りの花を見給へ○飄々として風に翻り満地白雪を敷く○朧に更行く町の色何とな
く艶めかし○花見に行く人の扮装こそ様々なれ○春の町の灯は陽氣に華かなり○人生の行樂正に此時に在り○春の夜の歡樂を唱ふ人々よ○芝居歸りの春の夜○落花を浴びて行く人○雨しと降り出で、見渡す彼方は朧に霞む○春潮雨を帯びて碧膏の如し○野には花の紅、山には霞の紫○微茫たる月色微かに花を照らす○心も浮立たん春の人○胡蝶の影を追うて狂ひ舞はばや○寄せては返す浪の音も眠げに怠りて、吹き來る風は人を酔はしめんとす○花の雨養着て來んぞ口惜しき○貧乏を隠家にして夕櫻○見て廻る桃と櫻や二人連○松濡れて燈籠濡れて春の雨○春風や扇流しの

瓦斯燈に依つて趣味を加へ、臺所の清潔は、瓦斯に依つて保たる、文明の生活を代表する一牛の力は瓦斯にあり、切に新時代の家庭に御愛用を乞ふ。

○空前の値下げ

來某月某日より改正可仕候左の條件、何れも大勉強、全然、從來の取扱を改め、萬事御便利を主として精々相働します、五燭光無制限——五燭光取附場所の制限を廢し何處でも御隨意の場所へ取附けます無料取扱——普通電燈取附工事は全部無料を以て御需めに應じますから本社、配電所、出張所又は某商會電氣工業所へ御申込下さい外燈一割引——軒燈其の他外燈は前記値段より一割値引いたします

裾襟様○美しき人の眞向や畫櫻○春の夜の柳隠れの細灯○爵買ひて千金の子や花に馬車○羽衣の友や扇の春の風○繪暖簾に東風吹く風や辨天座○春の夜の指環うるむや湯殿口○草苺や西施のひそむ櫻茶屋。(以上中春)
○落花啼鳥、暮春のあはれを語る○花悉く散りて哀愁多し感慨深し○花の盛りは空しく一夢に歸す○落花堆く雨細う降る○抑へ難き春愁○花なしと思ふ枝より、葩落二三片ひらりと舞ひ來る○花なき春の哀婉○浮かれたる人心も流石に一味の哀愁に襲はれなん○夏近き空のけはひ、白き雲頻りに往き通ふ○花畑の西洋花、小雨に烟りて見ゆ○落花の下に逝く春を弔せん○頼み難なの花の色○褪めはてし花の色を見れば哀悼の情頻りなり○わが若さの衰へを感ず○花のもろく散りゆくさまは、平家の物語をよむに似たる

晝間送電——夏季扇風器御使用のため某月某日より晝間御送電いたします。尚ほ來年夏季第二水力工事完成と同時に(定額従量とも)更に値下げいたす豫定です。

○オスラム

オスラムは世界第一等の經濟電球で、メートル需要家に用ふれば必ず電氣料半額以上の節約を保證します。壽命は一年内外保ちますから例へ少しでも電燈を點けて居る以上は早くオスラムを御使ひなされるに限りません。使へば必ず今迄より利益があり、使はれば今迄通りの損を永久に繼續せればなりません。實に瓦斯より安くあがる最新電球です。

○活動寫真界の魁

日本寫眞の粹を集め、外國製の物を選びて貴覽に供す。本館の設備は劇場に異なる所なく總べて整頓せり。場内には、普通席特別席は勿論、貴賓席の役なり。

○月賦販賣

活動寫眞器機及フィルム共最初に四分の一以上を御入金の上、殘金月賦拂に相願候、月賦拂の金額は御買入品の價格に依り御相談可申候。殘金月賦拂に對する擔保として公債證券、勸業債券、株式取引所にて賣買する株券を御預り可申候。弊店にて確實と認むる市内の地所及び家屋を有する保證人二人あれば、前條の擔保品なきも、商業手形にて御貸渡可申候。

○三越の一時間寫眞

當代廣告文例

かな○榮華の夢さめし心地○鐘聲ゆるく身に泌むやうなり
○暮春の名残を惜みて飛び廻る胡蝶の夢○連翹の黄、山吹の黄、何れも物淋し○日の光薄くして、春くれ方の寂しさ
○蛙聲漸く彼方此方に聞ゆ○一杯の美酒酌みて暮春と袂別せんか○春は衰へゆけど、諸嬢の美容は衰へず○永へに美しきを追求する人々よ。(以上暮春)

夏季

輕風爽かに新樹を吹く○五月職、翩翩として家々の屋上に見ゆ○輕風、若葉の香を伴ふ○一庭の新樹、日を受けて日を透し、金綠色に榮ゆ○若葉の薰り人の心を咬るやうなり○苗賣の聲遙かに聞ゆ○日比谷の蹺躑の中を行く絹傘の、白鳥の如く打續くを見る○劇場の外を飾る電燈の華やかなるも、初夏の夜の調子にふさはし○濕へる如き夜の空に月薄く匂へり○空青く晴れ

て快く囁く小禽の聲々○垂柳風に翻り、新秋浪を起す○罌粟の花の紅なるは、初夏の青き天地に目ざましき色の反映を與ふ○卵の花に白き雨ふりそゞぐ○眼を擧ぐれば、新緑やうやく藳として頭に迫り来る○初夏の自然は一種の快活なる氣分を含む○早朝、目ざめて新樹のそよぎを見る○夏帽子を透す日影○見渡す限り青々として心地よし○杜鵑一聲雲間より洩る○杜鵑聞かんとて不覺夜を更す○宵々は庭草に螢火點々と見え初めたり○夕闇を縫ふ螢火面白し○濁れる水の底に、ほのかに紅き金魚の緒動く○初夏の光線は、明るき中に濕ひあり○新箏、快く肥えて、竹むらに鳴る風の音、夏らしき涼味を呼ぶ○栗の花散る水の畔○軒近く蝙蝠飛びかふ○梅雨の時期は近付きたり○毎日降り續きて夜の如き隠鬱を感せしむ○晴天なるも空氣何となく重く

三越の寫眞はすべてが最新式であります。八月一日より一時間寫眞と申すもの相創めました。三越へ御立寄り遊ばされたとき、御撮影の後、御買物かたへ、一時間だけ御待ち下さりませれば、繪ハカキ大の立派な寫眞がちやんと出来上つて居ります。タツタ一時間の内に拵へますのでありますから、物は試し、是非御試し下さるやう御願ひ申上げます。

○最新式高等寫眞

弊館は某町電車停留場から直ぐですから甚だ御便利です。弊館は誠實を第一として期日の正確を守ります。弊館は白金寫眞、カーボン、ナツシニ寫眞、プロマイド寫眞等に於て獨特の技倆を發揮いたす積

しめれり○空飽迄青く地上の萬物、皆初夏の爽快なる色に歡び生く○窓外にかすかなる虫の聲あり○新装せる浴衣の裾軽く、薄暮打水に涼しき小路ををる歩人○空を渡る日、雲のたゞすまひ、水繪の如き清明の色あり○梅雨らしき雨、執念深く晴れては又降る○微の臭ひは自然に人を不快ならしむ○萬物じめ／＼として心地悪しきこと云ふばかりなし○胃腸を痛むる男女も多し○到る處出水の報あり○某處には洪水ありて人々は水上生活をなしつゝあり○正に田家多事の時○雨の中に漬梅賣の聲悲し氣に聞ゆ○降りつく雨に家の中、夜の如く暗く、手に觸るゝもの隱濕の氣を帯ぶ○夕空や、明るみたるのみにて、雨は又小止みなしに降る○何人か晴れたる空に憧憬れざらん○旅中の長雨は退屈の種○梅雨霽の朝何處にか初蟬の聲を聞く○梅雨霽の

りです、其の永久不變色にして美的なる點は繪畫にも優ります。弊館は、今般、新式寫眞室を開設し數個の客室を増設いたしました。弊館は人像撮影に最も重要な「光線の取方」に就て特別の裝置をなします、之に斬新なる技術を應用いたします。弊館は御撮影の方に對して特にブルーフ（見本寫眞）として三様の寫眞を呈し、其中から適宜御選擇を願ふて美麗鮮明に撮影いたします。弊館の附屬庭園は極めて廣潤で四季折々の花も咲きますし、築山泉水も御座いますから、多人數御集合、御撮影になる背景としては最も妙と存じます。續々御遊び傍御越しを願ひます。

○少年少女諸君

暑さ云ふばかりなし○池溢れて庭は一面の雨水○身體解くして何事をなすにも懶し○徒らに惰眠を催はす○宇治より新茶到來せり○新しき香を吸りて文話詩話に一日を消せん○急激なる氣節の變化には驚くの他なし○冷熱の差餘りに激し○夏負けして氣力徒らに衰ふ○梅の實、枇杷の實熟して多少の色彩を加ふ。（以上初夏）
○綠蔭幽草、花時に優る○涼影滿地、清風颯として至る○驕陽、熱火の如く人を苦む○風死して庭樹枯衰せるが如し○庭上の草皆驟雨と共に蘇生す○草市此方彼處に開かる○藪入の男女の雇はれ人の顔に、自由の喜びの色輝く○土用に入りて、暑熱一段を加ふ○夜の寝苦しさは又格別○金を鏝かす暑さとはこれなるべし○流汗淋漓として拭へども止まず○行路病者頻りに現はる○實務のためには半日以上暑

凡そ寫眞面白いものはありませぬ、諸君が今の中に度々寫眞を撮られて、大きくなつてから御覽なさいますと、無邪氣な快活な面影が能く分ります、之れ以上に面白い組念、趣味深い紀念となるものはありませぬ、是非一度御越し下さい。

○新製レコード新着

今回米國製造元より新製「レコード」各種輸着いたしました、發音の高調明快なるは、從來の分にして數等優ります、其の耐久力も亦他の「レコード」の十倍以上、操縦自由自在であります、價格は其の賣行の増加と原料の大節約とに依つて非常に格安となりました、此機を逸せず御求め願ひます。

熱と戦ひてペンを走らす○此處二三日は暑熱の絶頂か○今年は過去百年間に會て見ざる程の暑さ○氷室守の身の上羨しきかな○驟雨沛然として至る○涼味、滿庭に溢る○朝顔の花を賣り歩く聲、日毎の朝にかはりゆく○山雨來らんとして風樓に滿つ○安樂椅子によりて旋風器より風を呼ぶ○屋後を流るゝ水に嗽ぐ○火雲山の如し、明日の暑熱知るべし○蓮花湖に滿ちて一望際なし○紅白相交りて濃淡互るべし○清香四方に送り、鬱郁としく人の肌骨に沁む○暮靄遠く河上より來りて、對岸の酒樓の青き簾はたくと微風に鳴る○川岸の酒樓の燈影涼しく水に映りて、絃歌の聲かすかに、ゆるやかに聞ゆ○誰の心にも旅を思はぬはなし○山路の清水を想ひ、暮れゆく海の白帆をおもふ○都會を去る新しき夏帽の影、停車場に滿つ○天地、風全く死して萬

○無限の樂趣

著音器曰く、私は手もなく、舌もなく又咽喉も持たずに居りますがそれで居て諸君の御好み次第、歌も歌へば、音楽をも奏します、私は樂器を携へませぬが、三味線を初め笛鼓太鼓等の諸樂器を本物と少しも違はぬ音調で愉快に合奏いたします、それが長時間に亘つても疲勞しません、私は總べての外國語に精通し、何れでも流暢に話します、私は都會の劇場や御覽になる興行を其の儘、眼に見えろやうに音調によつて現はします、名優名妓の聲は、私を通じて、諸君を恍惚とさせるでせう、此様な樂かを與へる有益な高尙なもの、私を除いて他にありません。

象聲を潜む○山紫水明の境地を懐ふこと切なり○都會の紅塵中に醒醒たることは馬鹿氣たるやうにも思はる○山泉清冽、盛夏と雖も涸れず○微雨、風を送り、颯然として聲あり○窓前の梧竹皆風のために欣舞す○丘の上、水のほとり憩ふに亭あり、ベンチあり○感胃の氣味に饜はるゝもの多し○水のやうなる涼氣は襟懐に入りて爽かなり○暑熱と蟬聲とは最も嫌ふべし○眩しき日の影、輕き眩暈を感ず○一切の俗累を忘れて、山村水廓の間を彷徨はん。(以上盛夏)
○蟬聲未だ老ひず、暑熱一層激し○九十六度に上れる暑さほと／＼閉口○銀河遠き空に流れて、涼味掬すべし○何處にも出てずに奮闘執務せしたため腦疾を得たり○外出の際、懷中藥の用意なくてはかなはず○某劑を使用すれば暑氣に中る憂ひなし○夏の日長うして中々暮れんとはせず○流石

○時間變更

来る四日より相開き候第一回興行
開場時刻の儀、午後五時と廣告い
たし候處、何分當劇場初興行の事
とて諸事未だ整頓せざる廉も多々
有之、従つて意想外に時間を費し
御見物様御歸館時刻相遅れ可申か
の懸念も被致候に付、當分の間、
開場時刻を午後四時に繰上げ申候

○今回の新設備

新築落成の當座は、純日本式の設
計にて、場内のすべては見ぢがへ
るばかりに美しく相成、殊に衛生
上の注意と舞臺上の見心よきとは
全く他座に其の類なし、加ふるに
東西の樓敷裏には化粧室の設け有
之、取分けて東側の室には、洗面

に秋近き氣分を生ぜざるには非ず○夏を咀はんと欲す○今
宵初めて秋らしき聲を聞く○水打らて僅かに涼氣を呼ぶも
覺束なし○早く夏の過去らんことを望む○之れ以上、暑熱
と苦闘する勇氣なし。(以上晩夏)

秋 季

天地蕭寂として秋に入る○庭樹を鳴らす風
さわくとして自ら秋の聲あり○秋風都門
に入る○秋意ほのかに動く○残暑は却て三伏の頃よりも激
し○天高うして氣清らかなり○鵲の橋斜めに架けられて、
新涼初めて渡る○都の残暑容易に去らず○秋涼漸く人に可
なり○蟲聲、人語既に秋に入る○白露やうやく草に満ち
て、萩咲き、芙蓉咲き蟲聲咽ぶ○残る暑さは中々に堪へ難
し○秋とは名のみ○日の光、肌に泌みて痛きばかり○炒り
付く如き蟬の聲、亡びゆく前の精力を揮ひ出して秋の暑さ

臺の設備も有之候間、幕間の御願
直しに御留意御使用被下度候。

○敬 白

目下開演中の第二回興行の儀、前
回同様御高評を賜り、連日満員の
好況を得候は、全く大方各位御最
員の致す處と厚く御禮申上候、就
ては長時間演練し、御漏れなき様
充分の御観覽を願ひたき希望に御
座候へ共、興行の都合等も御座候
へば、來某月某日を以て千秋樂と
致し可申候、此儀御諒承被成下度
相成るべくは、此の期間内に於て
御差繰の上、新劇場に於ける新派
大合同御見物の機を逸せられざる
やう御坐席を速に御申込被成度、
偏に奉希上候、(丸の内、帝國劇場)
尙ほ横濱神奈川地方御觀劇客の御

に競ふ○一窓の秋雨、しめやかに降りたらん○風少しく冷
かなるを覺ゆ○寐覺めて耳を敬つれば、戶外よりも輕きも
の浮動す、霧やうやく罩め來るなるべし○梧桐葉上秋風冷
かなり○一葉落ちて天下の秋を知る○一雨毎に秋色次第に
加はらんとす○蟲聲籬の邊に聞ゆ○蓼の花赤く咲いて水細
く流る○天地寥廓として人と自然と冥合すべき好季節も近
し○白露、草上にまろびて、珠玉かと疑はる○燈火漸く親
むべし○氣分次第に爽かとなる。(以上初秋)

○野は千草の花に満ちて錦鏽を織れるが如し○四時の遊興
秋に如くものあらんや○月に向ひて嘯けば、答ふるものは
唯孤雁の聲○白露既に庭上に滿つ○秋色漸く佳なり○秋燈
明かなり夜の窓○秋月皎々として、光被する所際涯なし○
月白く、風涼し○誰が家の子ぞ、今夜月に向つて笛を吹く

便利を計る爲め、某月某日より横濱市某町に當劇場札賣場（電話何番）を設け、切符の發賣仕候間、概々御用命の程伏而奉願候。

○切符發賣開始

本月二十日より廿六日迄七日間、毎日午後四時開演、賑々敷御來觀の程希上候、脚本は坪内博士指導文藝協會公演沙翁劇「ハムレット」五幕、（第一幕）亡靈出場の場、使節派遣の場、レナーチス出現の場（第二幕）鬚書朗讀の場（第三幕）ハムレット獨白の場、劇中劇の場、國王煩悶の場、ハムレット苦諫の場（第四幕）オフィリヤ狂亂の場、（第五幕）オフィリヤ葬式の場、ハムレット復讐の場、（登場者）某々外十數名。

○新舊合同劇開演

當劇場は本月一日より十五日迄毎夜五時より開演いたします、今回は新舊合同の大一座、新派では某々、舊派では某々、何れも人氣もあれば腕もある若手俳優の顔合せです、近來興味深きことと存じます、脚本は新作物「曉の光」で當代第一流の劇作家某先生の手になつたもの、結構と云ひ、題材と云ひ、申分なき立派な作でありますから、劇界の寂寞を破るに足ると存じます、興行方法に就ても大改良を加へ、茶屋出方を全廢して唯觀覽料のみ御支拂下さいますれば、女給仕人が場内へ御案内申上げます、之れ又た當座が御最良様に對して御便宜を計らうとする微

當代廣告文例

○白露江に横はりて、水光天に接す○蟲の音は切々として訴ふるが如く、泣くが如し○稻花快く熟せんとす○二百十日は雲のみ流石に穩かならず○日影熱く輝いて、風樹梢に鳴る○月光水の如くラムプも點さぬ室内に流れ入る○今宵は一家團樂して清き月影を賞せん○皎々たるかな月色、歌よまぬものとても何となく雅興を催はさん○月の色、蟲の聲、身に沁み入るらん心地○仲秋無月も亦一興○江上船を泛べて月色を賞す○秋の日黄を帯びて白き障子に映る○木の葉いつとなく黄を帯びて、照らせる日の光も亦黄なり○栗、市に出て、夜は長くなれり○野に行樂の人多し○胸廣く體胖かなるを感ず○芭蕉葉を打つ秋雨しめやかなり○秋雨連日、又々洪水の恐慌あり○出水、床上に及びて濕潤堪へ難し○野草の花幽香を放つ○一陣の風、忽ち雲霧を齧

らして月を暗うす○月に叢、花に風○風吹けば露落つること滋し○つゆの白玉、黄葉の上に轉々す○空には銀河横はり、叢には蟲の音わびし○名月の二つある夜や水と空○秋の水石白く魚動かざる○笛の音や誰とも知らず秋の人○島山に船の往來や月今宵○風冷かにして爽氣野郊に滿ち、梧桐ひらくと飛ぶ○庭の白萩月に照りて雪の如し○欄によりて月の昇るを待つ○月今宵雨おもしろや酒一斗○萩の聲月の漁翁の笛に和す○荒海に浮べる船や雁高し○小原女や妻木に添へつ女郎花○どの家へ入る提灯ぞ蟲の聲○晴れ渡る空を仰いで野山を想ふこと切なり。（以上中秋）
○凋落の色野に現はる○晩秋の空高く晴れて、濃き藍色の底深く見ゆ○冷氣蟲聲を枯らして秋老ひんとす○燃ゆるが如き紅葉の色○瑠璃鳥の圓く滑かなる聲に、秋思軽く揺ぐ

第二章 廣告文資料

意に過ぎぬので御座います、何卒初日早々、御家族御友人御誘合せの上、賑々敷御來觀を願ひます。

○一世一代の妙技

當座十月興行には、名優某東上、一世一代の覺悟で、其の十八番中の十八番物「お後傳兵衛」を演じます、從來、度々演じてこれ程喝采を博したものはありません、圓熱せる技巧、満身の熱情、觀客を魅して、恍惚、美の醇酒に酔はせるやうな心持を起させます、殊に今度は、久振の晴れの舞臺、某も非常な意氣込ですから、滿都の士女の話題に上つて、劇壇を風靡することゝ存じます、此の機を逸せず、早々御來觀を希ひ上げます。

○世界一の大奇術

その靈妙に於て、その奇々怪々なる點に於て、その變幻出沒の術に於て、從來の大奇術は全く顔色なからんとす、佛人某の大一座を見たるものは、何人も右の如き感想を起さるべし、最近科學を應用し精神靈動の作用を示すは、全く他に類なきところ、此の一座を見ざる間は、奇怪を語る勿れ、變幻出沒の妙を語る勿れ。

○勸業會社株式募集

(創立趣意)

軌近經濟上に於ける發達の顯著なるに伴ひ、政府地方自治團體組合等の財政頼に膨脹し來り、巨額の資金を需要すること日に益々加は

當代廣告文例

○コスモスの花、ダーリヤの花、晩秋の明らかなる空氣に清楚なる色彩を漂はす○原上人稀にして天地寥廓○獵期に入りて、遠き彼方に銃聲を聞く○悠々たるかな晩秋の一日○霜葉、春の花よりも紅るなり○霜葉婆娑として笠を打ち行人を驚かす○松の間を縫へる錦繡の色艶なり○紅葉には俗氣あり、黄葉には雅味多し○雨は注ぐ落葉の前、涙は落つ孤燈の後○菊紅葉、自然の雅趣を示す○小春の空は親むべく狎るべからず○返り咲く花の多き中に、林檎の薄紅なるが、秋の寂しさに慣れたる眼に慰藉を與ふ○狐色せる野面に小春の日暖かなり○秋老ゆると共に山骨憔悴す○空の色、木の葉の響、總べて一種の乾ける枯れたる氣味あり○今朝の風寒しと思へば霜うすく地に置きたり○初冬に近き景色著しく見え初めたり○山に生ふる菊、野に匂ふ菊の

香○晩秋の旅の面白味は、山の高きに上りて、黄葉の色に飽くもあり○黄菊白菊共に氣高くて佳興を動かす○瓶中の白菊、香高くして一室に薰す○山菊のうす紫に夜ほのと明けゆくさま詩味豊かなり。(以上晩秋)

冬季

霜枯の草を踏みて、野外に立てば、一望蕭條として枯蘆、風にそよぐ○時雨降り、雲ふりて、寒氣次第に増す○人々の吐き出す氣息白く鮮かに見え來る○冬の自然の壓迫に抗して、著るしく元氣を失はざる雀の群れの快き哉○屋根の霜白うして、手洗鉢の残れる水○落葉をませて薄く凍れり○吹く風寒うなりて散歩にもふさはしからず○吹く木枯にはらくと散る落葉の影○曉風殘月肌寒し○見上ぐれば雲低く垂れて暗し○一陣の颯風霰を捲いて吹き來る○霜華白うして橋板未だ人の足跡な

第二章 廣告文資料

れるのみならず、更に民間に於ける各種産業の異常なる發達は規模の産業的事業の企劃を促進し、既存の事業家に在りても亦世運の進歩に伴ひ、事業擴張、生産力進歩の必要に迫らるゝあり、資金の需要は愈々益々増加し來れるを以て豊富なる資金の供給は、今や國運發展の一大要素たるに至れり、而して一方國民富力の趨勢も亦如上産業の發達に隨ひ、年と共に激増し來り、既に資金として各種事業に放資せられたるものありと雖も、動もすれば、適當の用途を得ず、其利用を完ふする能はざるものあり、加ふるに最近世界交通上の進歩と、我が國情國力の普く世界各國に熟知せられたるに依り外資の移入相繼いで行はれんとし

し○曉來 戸を押せば寒月晝の如し○電燈の明り薄く濁りて、戸外風ある氣色○野を行く人影極めて疎らなり○積雪尺餘に達す○近來になき大雪○ストーブと離れ難し○熱き珈琲の一椀を啜らばや○火酒を一杯飲みて元氣を付けん○寒き時には酒の味殊に宜し○寒光千萬里、天風吹いて海鳴り、山騒ぐ○寒月一輪山上にかゝるゝ、その冷光ながら水降る○東海の景は富士によりて活き、富士は雪の装ひによつて活く○朔風雪片を捲いて吹きすさぶ○野に佇立めば、一望蕭條として枯蘆風にそよぐ○空林月出て、人影長く地に映る○小春日の汀に水仙の花咲いて、白き花瓣妙に匂ふ○嶽上一點の雪、富士の秀容に氣高き一段を加ふ○歳暮の町に滿つる人々の心の慌しさは他の季節に又と見出し難し

資金の適當なる用途を求むる事も亦甚だ切なるものあり、資金供給の形勢、夫れ斯の如し、故に需給二者の中間に立ちて鞏固なる基礎を有し、敏活懇切に媒介の業務を執る機關の存するあらば昔に二者を利するのみに止らず、産業の發達を助け、國運の伸張に資すること蓋し尠少ならざるべし、茲に於て我々同感の者相圖り、此の國家的須要に適應するの一機關を創設し、以て此の缺點を補はんとす、今や企劃熟す、茲に株式組織に依りて會社を設立し、大方の募入を求む(下略)

○御化粧文

新玉の歳の首、幾千代かけてかわらせ給はぬ君が榮を松の内、今日

○大賣出の店先に廣目屋の樂隊賑かなり○三越の自働車、お誂への春着を載せて何處の邸宅へか行く○年淡として暮れゆかんとす○餅搗きは歳暮の特殊の景物○百八の鐘鳴り初めて、一杵又一杵、ふる年を葬むるに挽歌に似たり○歳月人を待たず○多少の感慨なしとせず○縁の日向、炬燵の中、人はたゞ暖きを喜ぶ○上戸黨は機會さへあれば酒に親む○街の家々の前に松立つる人々の様を見れば、歳暮らしき感じを起さざるを得ず○一年又一年、夢の如く経過す○過ぎし後をふりかへれば悔恨のみ多し○年内餘す所幾日ぞ○到る處、印刷所にては、新年の初刷に忙はし○新年に先立ちて、新刊雜誌は書肆の店頭を飾れり○人を俄かに色めき立ちて東西に奔走す○人力車、自轉車、箱車等、右往左往に馳せちかふ○湯歸りやあら面白の雪景色○女神の裸

吹き初むる春風に、青柳のいとを
なつかしき、住の江の岸に生ふて
ふ忘れ草もゆかしく侍り、淺香の
沼の波からゆかしく侍り、淺香の
のれのみ秘め置かんよりはと、化
粧文して新歲の、化粧の流行し
せまらせたさ、紅筆ながら示し
よ、色白粉と新年の雪にやまが
はん白粉は、その敷いと多き中に
千の目の小松虫手あまたに持離さ
るゝは大學白粉にやおはさむ、濃
きも薄きも心任せ、ゆりよく艶
く玉の膚に色添えて、開くだに恐
しき鉛の屏氣絶えてなければ、か
ほりゆかしう離の梅花にもまさる
とか、されば鞠突き遣羽子の姫た
ちきそひてこの白粉に春の装ひ一
きわ美しう飾られ、都大路の松立
てる門邊といはず、都が里なる伏

體の像や冬ごもり○行年の隣家夜すがら物音す○冬枯れて
軒の先より富士筑波○珍重す五升瓢や冬ごもり○酉の市熊
手にかゝる夜霜哉○から／＼に枯れて轉がる落葉かな○高
張や曉近き年の市○鍋焼や主人の猪口の癖久し○越年の準
備をなすに忙はし○少年少女は何れも新春の近付きしを喜
ぶ○羽子板を買はんと云ふは少女の群○飛行機求めんと云
ふは少年の群○調味の品も需要頗る多し○大人連の中には
會社の配當にあり付くもあり○會社銀行員は年末賞與を受
けて何れも喜色あり○懐手暖かなれば元氣よく舶來雜貨店
に行く○求めんとする品は何か○帽子か手袋か○中には金
時計を求むるものもあらん○家庭の主婦は多忙なるうちに
化粧品○選擇を忘れず○美を競ふ貴婦人達の用意おさお
さ怠りなし○春着の仕度にも目も廻るばかり○白粉に、洗粉

屋の軒といはず、老も若きもおし
なべて、大學白粉の化粧ぶりを誇
りたへつゝ、自出度き春を迎へ
草、若草もゆる君が御許へ、また
なうよすがの便りこそ、こま／＼と
緋言まゐらすになん、立つや霞に
引鶴のお聲なつかしうおひまゐ
らすに、嬉しき御返り事きこえ給
はんほど、ねき侍り候かし。初東
風に一輪咲きの垣根の梅より、幾
千代の翠變らせ給はず榮えませる
松子様まゐる。

○白梅の花にも勝る姿

香氣強からず、弱からず、如何な
るお顔にもよく着きて自然の美し
き肌色を隠さず、イキ／＼したお
顔に品よく美しく粧はするは御園

に 香水に、クリームに各よき品を求む○中流以上の社會
に於ては、贈答の品に苦心す○歳暮の贈答には何が宜しき
か○クリスマスマスの樂みは格別○會堂に赴く小供達の清き心
○クリスマスマスの贈物は何れも善盡し美盡す○小供がちに集
ふクリスマスマスの人○われもむかしかの常磐木の聖燭のひか
りのもとに集へりと語る人もあり○年逝くやうれひ喜さま
／＼の涙凍てよと月は照るらし○古き日記を見てさま／＼
の追想に耽る○來年よりは清き心に依て日記の第一ページ
を記さん○新しき年の日記を用意せん○如何なる日記を選
擇すべきか○上戸黨はウキスキーに酔うて快く除夜を送る
○酒なるかな、酒に依て歳末の憂を忘れん○祝酒三杯、舊
年の去りゆくを送らん○新春の來客に出す酒は最上のもの
とせん○惡酒に酔ひし時の心持は實に不快の極○室内を飾

白粉。

○花の美と人の美

花は春の光によりて美なり、春の霞によりて愈々美なり、春の月によりて最も美なり、人はクラア粉によりて美なり、クラア粉磨によりて愈々美なり、クラア粉によりて最も美なり。

資文案 商用文鑑 終

るため特に新しきテーブルを買ひ入れん○今年は歳暮大賣出の競争激烈なり○大賣出の景氣素破らしく宜し○街上に一種の活氣を添ゆ○景品の上に新案を凝らさんとする傾向あり○勸工場は何れも雑沓す○福引に筆筒を得て喜ぶ大福顔。

明治四十四年十二月十日印刷
明治四十四年十二月十日發行

(資文案商用文鑑)

定價金六拾錢



著者	高須梅溪
著者	福井庄三郎
發行者	東京市日本橋區本町三丁目八番地 大橋新太郎
印刷者	東京市小石川區久堅町百八番地 水谷景長
印刷所	東京市小石川區久堅町百八番地 博文館印刷所
發行所	東京市日本橋區本町三丁目 博文館

振替貯金口座東京三四〇番

通俗作文全書

全部二十四冊

(全部完成)

洋裝四六判美本
紙數各三百頁

正價

〇一冊金參拾五錢
〇十二冊金參圓七拾錢

〇二十四冊金七圓貳拾錢
郵稅各金六錢

記事論說或ば紀行敘事等の雄篇大作より、尺牘葉書の日用文に至るまで齊しく是れ文なる以上は、文明社會の人は皆文を以て互に意思を通じつゝあるものと謂ふべし。然るに今日

- 第一編 ● 文章組立法 (七版) …… 大和田建樹君著
- 第二編 ● 書簡文作法 (九版) …… 大和田建樹君著
- 第三編 ● 美文作法 (六版) …… 田山花袋君著
- 第四編 ● 商業作文法 (五版) …… 天城安政君著
- 第五編 ● 支那時文軌範 (四版) …… 青柳篤恒君著
- 第六編 ● 紀行文作法 (三版) …… 西村醉少君著
- 第七編 ● 寫生文範 (三版) …… 福田琴月君著

の状況を見るに百般の藝術の駁々として進歩するに反し作文の技のみ獨り退歩の觀あるは洵に痛嘆の至りと言ふべし。是れ多數の文士が文章に重きを置かざるに由ると雖も、從來文法を教ふる完全なる書籍なきも亦其一因なりといふべし。弊館之を遺憾とし、通俗作文全書を發行して此缺點を神補する所あらんとす、乞ふ愛讀を給へ

- 第八編 ● 論說記事文範 (四版) …… 河井醉茗君著
- 第九編 ● 女子消息文範 (三版) …… 西田敬止君著
- 第十編 ● 日記簡文範 (八版) …… 森田米松君著
- 第十一編 ● 祝賀弔祭文範 (三版) …… 大和田建樹君著
- 第十二編 ● 中等學生文範 (六版) …… 石崎篁園君著
- 第十三編 ● 明治時代文範 (三版) …… 山川直五郎君著
- 第十四編 ● 言文一致文範 (再版) …… 生田星郊君著
- 第十五編 ● 古今名家尺牘文範 (再版) …… 堀井秀雄君著
- 第十六編 ● 古今名家尺牘文範 (再版) …… 大田才次郎君著
- 第十七編 ● 古今名家尺牘文範 (再版) …… 武田櫻桃君著
- 第十八編 ● 新體詩作法 (再版) …… 河井醉茗君著
- 第十九編 ● 新體漢文軌範 (再版) …… 久保天隨君著
- 第二十編 ● 古今才媛文軌範 (再版) …… 近藤正一君著
- 第二十一編 ● 美文辭類語集 (再版) …… 久保天隨君著
- 第二十二編 ● 俳句作法 (再版) …… 窪田空穂君著
- 第二十三編 ● 小説作法 (再版) …… 内藤鳴雪君著
- 第二十四編 ● 法 (再版) …… 田山花袋君著

類書文作行發館文博

内山幻堂君著

明治書翰文大全

全一册菊判 正價五拾錢
四六〇頁 郵税八錢

本書は、廣く農工商業婦女學生其他普通用文に亘つて詳かに文法作例を示し、各種數百題、全篇四百四十頁に及ぶ、且つ前項にて沿革、心得、組立、式法等を掲げ、諸種の願届書式等を載せ髓頭にはいはるは引書翰文節用を掲げたれば、其便利のよきこと坊間流布用文の比にあらず。

神戸高等商業學校長 中川靜君著

現代商業文指鍼

全一册三六判上製
紙數四百四十六頁
正價金七拾錢
郵税金八錢

前編 商業文の様式

商業文章とは何ぞや○商業文章起草心得○商業信書各部の様式(信書箋。郵便葉書。封筒。番號。日附。發信者名。前文。主文。末文。副文。證券其他の様式)

中編 商業文章の内容

披露狀○通知狀○依頼狀○紹介狀推薦狀願届書○信用狀○照會狀○注文狀及申込書○承諾狀及拒絕狀○報告書○廣告文○商會社發起時期の主要書類○契約書及各種證券○商業登記申請及廣告○商業文書用語○附録 商賈往來

後編 商業文章の整理

複寫法○信書類の整理方法○信書摘要録○電報暗號編制及利用附商標符號○商家の文章事務
附録 ○信書用語の慣用法○候の用法送假名。假用文字。轉讀語句○用言の品等○郵便規則摘要

類書文作行發館文博

大和田建樹君著

書簡組立法

全一册菊判 正價拾五錢
一六〇頁 郵税四錢

樋口一葉女史著

通俗書翰文

全一册菊判 正價廿五錢
二四六頁 郵税六錢

下田歌子女史著

女子書翰文

全一册菊判 正價廿五錢
二二八頁 郵税六錢

中村秋香君編

書翰文大成

全一册菊判特製
紙數三百四十八頁
正價金拾貳圓
郵税金拾貳錢

本書は専ら實用を旨とし、虚飾の文字を避けて習文に易からしむ、特に男女書翰文の起原、變遷を詳にし、書法假名遣其他種々なる注意を與へて殆ど餘蘊なし、實に著者が多年意を用ひし往復文なり

神戸高等商業學校教授 中川靜君著

書簡文研究

全一册洋裝三六判
紙數四百五十二頁
正價金六拾五錢
郵税金八錢

本書は卷中書翰文の變遷、組織、種類用語、特質等に就て文學的に實用的に古今東西の類例を引證して解説周到行文流暢加之書翰整理法郵便電信並に教育法練習問題等を附したれば以て好個の教科書参考書と爲すべく間々挿む所の貴顯名家の消息文漢文時代文尺牘陣中書翰等は亦以て文房の珍とすべし

類書文作行發館文博

石橋思案君 星野夢人君共編

紅葉書翰抄

全一册菊判 正價五拾錢
一九三頁 郵稅六錢

三宅青軒君著

陸海軍人書翰文

全一册菊判 正價廿五錢
二五〇頁 郵稅六錢

下田歌子女史著

三體女子消息文

全一册菊判 正價壹圓
四八二頁 小包十二錢

文學士 久保天隨君著 (最新刊)

作文記事文鑑

全一册三六判上製
紙數五百三頁
正價金七拾錢
郵稅金拾錢

本書は著者多年研究の結果新式の排列法を案出して新に成れるもの通編數十の部門に分ち、あらゆる事項を網羅し、一字一句の贅語冗辭なく、崑山の玉、筆端毫も窮束せず、千篇立ちどころに成る概あるを得む。

中村高等女學校校長 戸野みちる女史
元華族女學校講師 近藤 正一君 共著 (最新刊)

實用女子作文全書

全一册和裝菊判
紙數五百二十二頁
正價金六拾五錢
郵稅金拾貳錢

女子として容易に文章を起稿し且つ作文に圓熟せしめん爲に編述せるものに於て、文の組立方、修辭文想等作文上の大法は勿論記事、紀行、日記、敘情、用祭、祝辭、書簡等諸種の文章は一例を擧げて其作法を懇切に記し又情文の資料として美辭、類句、用語等は四季若くは題目に分つて列記し更に進んで公用文の認め方をも示したれば女學生は勿論家庭には必ず一書を缺くべからず

類書文作行發館文博

野依法學士宮下法學士共著

最新商用英語通信

全一册四六判 正價八拾錢
三四〇頁 郵稅八錢

濱田四郎君 遠藤辯二君共著

實用英和商業文指針

全一册四六判 正價四拾五錢
二二〇頁 郵稅六錢

法學士 辻宏吉君著

新英和日用書翰文

全一册四六判 正價八拾錢
四八〇頁 郵稅八錢

子爵金子堅太郎君題字
神戸高等水島鐵也君校閱
商業學校長 上田貢太郎君著 (最新刊)

貿易通信文英譯例題

全一册洋裝三六判
紙數百二十九頁
正價金參拾八錢
郵稅金六錢

今日漸次益擴張發展しつゝある所の海外直輪貿易の衝に當る者就中學校を出て始て實務に就く者の往々困難を感するは海外通信作文にありとす本書は既往三十年來外國商館に正金銀行に獨立直輪業に深遠なる實験を積み商業語の泰斗として曾て貿易、爲替、電信暗號等著述せられたる上田觀水翁の著す所に係り實に直輪貿易者の寶鑑たるは勿論其附録たる商店雇人心得に至ては唯雇人のみならず雇主に取つても雇人訓練監督上の金科玉條と言ふべし

類書文作行發館文博

物集文學士長文學士共編
散文 美文辭彙

全一册三六判 正價壹圓廿錢
九百七十頁 小包料八錢

百束持中君編
作文熟語字典

全一册袖珍 正價八拾錢
九百八十頁 郵稅八錢

井上敏夫君編
國語漢語類語 作文錦囊

全一册袖珍 正價參拾五錢
四百三十頁 郵稅六錢

幸田露伴君著

普通文章論

全一册四六判 正價七拾五錢
二百四十四頁 郵稅八錢

田山花袋君 前田木城君共著

評新古文範

全一册四六判 正價七拾錢
五百三十頁 郵稅八錢

內山幻堂君著

中等學生作文寶鑑

全一册四六判 正價七拾五錢
六百二十四頁 小包八錢

內山幻堂君著

實用普通作文寶鑑

全一册四六判 正價七拾錢
五百五十頁 郵稅八錢

土居通像君著

作文活法

全一册袖珍 正價六十錢
六百三十頁 郵稅六錢

小室風山君遺稿

範文自然と社會

全一册四六判 正價五拾五錢
四百三十頁 郵稅八錢

類書文作行發館文博

下田歌子女史著

子女作文の彙

全一册菊判 正價廿五錢
二二六頁 郵稅六錢

岸上操君著

作文自在

全一册菊判 正價廿五錢
二七四頁 郵稅六錢

堀江秀雄君著

學生必携 作文資料

全一册袖珍 正價拾五錢
二一六頁 郵稅四錢

上村左川君編

記事論說文範

全一册菊判 正價廿五錢
二四四頁 郵稅六錢

松村政親君著

實用作文獨習書

全一册四六判 正價廿八錢
三〇四頁 郵稅六錢

西村醉夢君編

新作文問答

全一册袖珍 正價貳拾錢
二二四頁 郵稅四錢

石崎篁園君編述

國民作文軌範

全一册三六判 正價四拾錢
五六〇頁 郵稅八錢

高須梅溪君福井庄三郎君共編

文案商用文鑑

全一册三六判 正價六拾錢
四百六十頁 郵稅八錢

海賀變哲君著

新小説字典

全一册三六判 正價壹圓廿錢
千三十四頁 郵稅八錢

堀内新泉君著

現代執務法

全一冊菊判 正價四拾五錢
二六一頁 郵税八錢

(やま上新聞評)

本書の題目を見ると乾燥無味の規則やうのものかと思はる、然し内容はさうでない、主眼とする所は執務上の精神を養成するのだから一部の修養書である、本書は米國のエスリッチモンドの著述を抄譯したものが極めて平易流暢に出来て居る青年執務家に取って好箇必讀書である。

商學士 大石善四郎君著

實用商業簿記

全一冊菊判上製
紙數三百十六頁
正價金九拾錢
郵税金八錢

本書は甲種商業學は他の商業學校に於ける教科書は参考書に好適し且つ平易なる文辭を用獨學により簿記に熟達する充分の好伴侶たり

特に本書は簿記中最も難事とせらるる貸借仕譯に重きを置き三種の仕

解説したるは本書の特長なり

●商業簿記全書

山本邦之助君
田村八二君 共著
正價金四拾錢 郵税八錢

石井研堂君著

進歩的小賣商店繁昌策

全一冊菊判 正價四拾八錢
三百十四頁 郵税八錢

本書一冊にて小賣商店繁昌の秘訣只た一つを得たりとするも安きものなり況んや三百餘頁悉く實際の眞訣なり一日早く讀めば一日だけの益多し口繪の十六頁の如きは天下第一品の珍畫以て見世を飾る手本とすべく群書雲集受合なり

商學士 高島誠一君著

最新商業要義

全一冊菊判上製
紙數二百七十二頁
正價金九拾錢
郵税金八錢

今や時勢の要求は、商業智識の進歩を促し、商業學校の設立漸く多きを加へんとす。然れども彼の商事要項科の教科用書に未だ適宜のものを見ざるは、蓋し商業教育界の缺陷にして、教育者并に學生の不便尠からず、本書は實に此缺陷を補はんが爲めに、編述發行せるものにして、其の目的たる、甲種商業學校の教科書に充てんとす。内容は、商事要項の明確なる行文を以て記述し、記事の配列順序は、教授時間を酌量して詳疎を按排し、又本文に挿入すべき商業要式は、是れを別冊に經めて教授者及び學生の便宜を圖りたり、而して著者高島商學士は斯學專攻の士、其の如何に説明の懇切にして、用意の周到なるかは茲に喋々を要せずされば本書は實に甲種商業學校に於いて、缺く其の他の商業學校に在りても最新最良の教科書にして、又獨習者でも唯一無二の好師友たり、商業學校教育諸士及び商業に志ある士は、乞ふ採用の榮を賜へ。

高須梅溪君著

◎金言 百傑 スケッチ

本書五大特色

全一冊四六判美本
紙數三百六十頁
正價金五拾五錢
郵税金六錢

● 古來社會文明に貢獻したる世界英雄の傳記數百冊を涉獵して其の徳性智能共に優秀なる一人を自選したるにあり

● 從來傳記の弊とも云ふべき冗漫繁雜の叙事を避けて百人傑の面目を活躍せしむべき一契點を捕へて能く全生涯を髣髴せしむる所にあり

● 百人傑の壯大雄偉誠實剛健優美なる行事に配するに一々賢哲の名言を以てして印象を鋭くせんとしたる處にあり

● 其の叙事の筆は暖き心と冷かなる觀察とを基礎として一種の印象的描寫を試み清新簡淨の趣味を有する處にあり

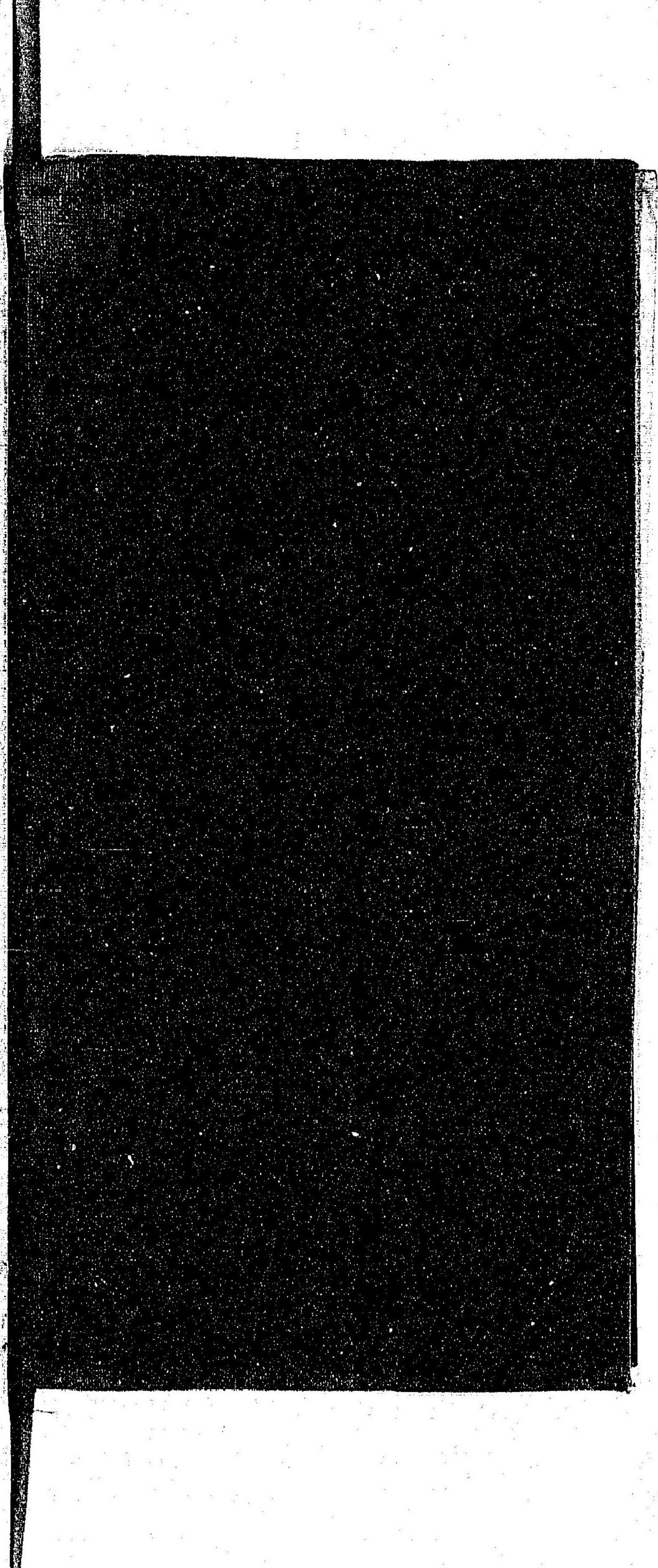
● 著者は十數年青年の友として絶えず暖き同情と熱實なる忠告とを呈して尙ほ足らざらん事を愛ふる人なれば本書を選述する資格に於て最も完全なる閱歴と長所とを有す

◎金言 東西名婦の面影

(博文館發行)

全一冊菊判 正價金四拾五錢
三〇〇頁 郵税金八錢

268
7
638



福井 庄三郎
新編
商用文鑑
高須 梅溪



080132-000-3

特19-279

商用文鑑

福井 庄三郎

高須 梅溪 / 編

M44

DAC-4275



